

事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分「一部、令和5年度分含む」)

静岡県立富士高等学校

〒416-0903 富士市松本17番地

電話番号 0545(61)0100

FAX番号 0545(64)7349

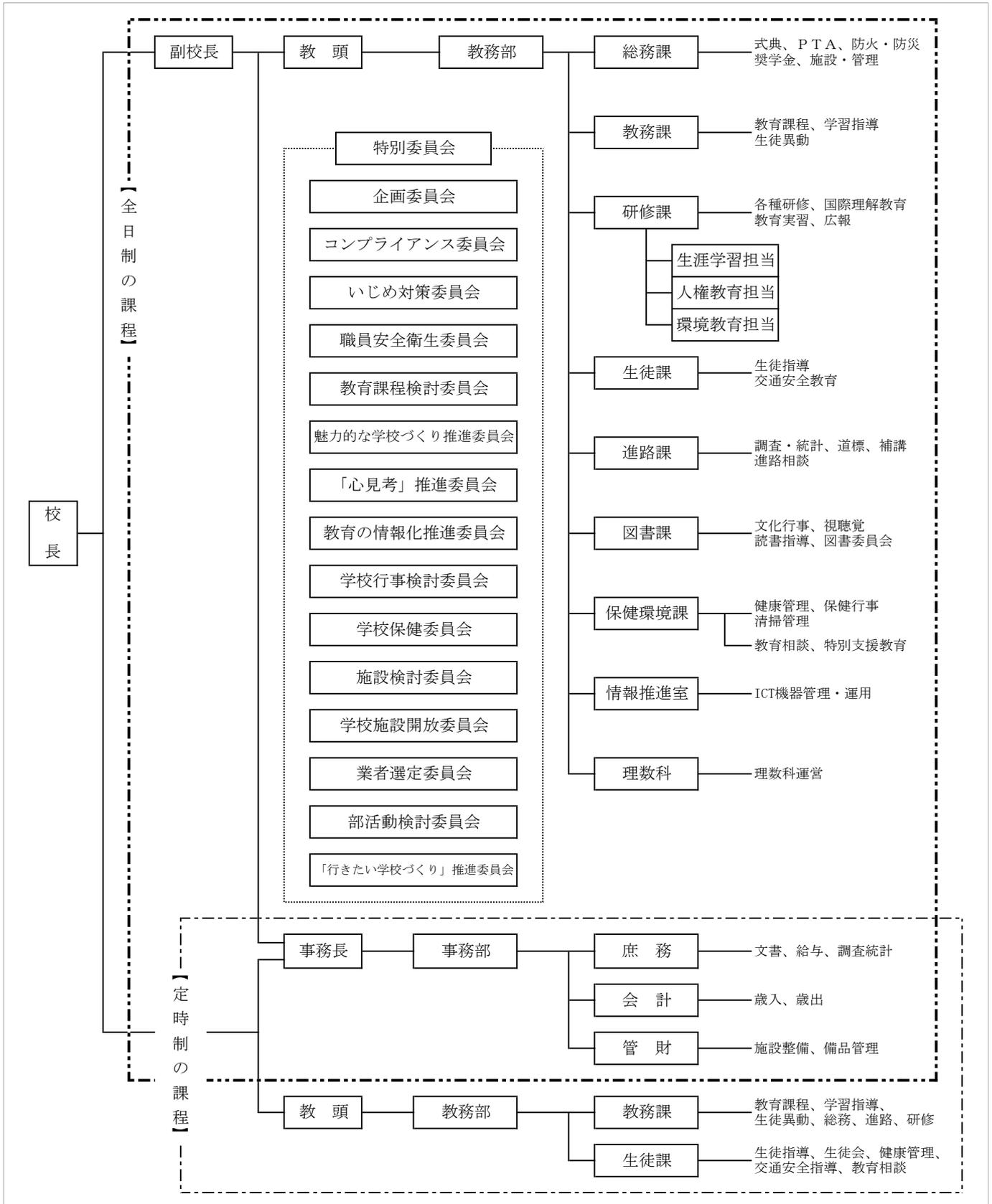
事務事業の概要

1 概況

(1) 学校の沿革

大正11年9月29日	静岡県立富士中学校設立認可
大正12年4月6日	開校（生徒定員500人 5学年）
昭和23年4月1日	静岡県立富士高等学校に移行（生徒定員1,050人 3学年21学級）
昭和23年9月1日	定時制課程設置（定時制生徒定員320人 4学年8学級）
昭和39年5月25日	普通教室棟改築工事竣工
昭和41年3月31日	特別教室棟改築工事竣工
昭和42年1月14日	管理棟改築工事竣工
昭和61年4月1日	理数科設置（生徒定員1,255人 普通科27学級 理数科1学級）
昭和62年3月31日	教室棟(西棟)増築工事竣工
昭和62年4月1日	生徒定員1,295人（普通科27学級 理数科2学級）
昭和63年4月1日	生徒定員1,335人（普通科27学級 理数科3学級）
平成4年4月1日	生徒定員1,290人（普通科26学級 理数科3学級）
平成6年4月1日	生徒定員1,203人（普通科25学級 理数科3学級）
平成8年4月1日	生徒定員1,104人（普通科24学級 理数科3学級）
平成10年4月1日	定時制課程定員160人（普通科4学級）
平成10年9月30日	普通教室棟改築工事竣工
平成14年4月1日	生徒定員1,040人（普通科23学級 理数科3学級）
平成15年4月1日	生徒定員1,000人（普通科22学級 理数科3学級）
平成16年4月1日	生徒定員960人（普通科21学級 理数科3学級）
平成17年1月31日	体育館耐震補強工事竣工
平成24年2月10日	生活館耐震補強工事竣工
平成24年3月23日	講堂及び部室棟改築工事竣工
平成24年10月19日	創立90周年記念式典挙行
平成27年3月2日	体育館外壁・屋根改修工事竣工
平成27年11月10日	管理棟外壁・防水工事竣工
令和2年4月1日	生徒定員920人（普通科20学級 理数科3学級）
令和3年4月1日	生徒定員880人（普通科19学級 理数科3学級）
令和4年4月1日	生徒定員840人（普通科18学級 理数科3学級）
令和4年11月11日	創立100周年記念式典挙行
令和7年4月1日	生徒定員800人（普通科17学級 理数科3学級）

(2) 組織図



2 目指す学校像

校訓「克己心身を練れ 勤勉実力を養え 至誠事に当れ」のもと、約100年もの長きに及ぶ伝統や地域における本校の役割を踏まえ、「社会の発展に寄与するために、主体的に学び続ける人材を育てる」ことを目指す。

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

《全日制の課程》

(1) 令和5年度の取組目標への評価及び成果と課題

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	日常的な授業改善への取組等を通し、生徒の主体的な学びを促し、学力の向上を図る。	● 「授業(分かりやすさ、意欲等)は概ね適切」と答える生徒・保護者 90%以上	生徒 87.2% 保護者 70.8%	B	ICT 活用の授業を推進し、タブレットや視聴覚教材の使用等、授業改善を心掛けることで、生徒の学習意欲を促すことができた。公開授業などを通して、広く授業を見てもらう機会を増やしたい。
		● 「授業改善に取り組んだ」と答える教員 100%	100.0%	A	全教員が授業改善に取り組んでいる。次年度も授業アンケートや授業研究を実施していく。
		● 「タブレットを効果的に授業に活用している」と答える教員 100%	100.0%	A	タブレットを職員一人一人に持たせることで効果が出た。ロイロノートや Classiで活用した資料の共有やリユースなど、さらなる充実のためにできることを検討したい。
		● 「主体的に学習に取り組んでいる」と肯定する生徒・保護者 85%以上	生徒 78.9% 保護者 86.9%	B	生徒が主体的に学習に取り組めるように、探究活動やそのスキルを使って、すべての教科に共通する姿勢を身に付けることができるような仕掛けやプログラムを工夫していきたい。
		● 「学校は生徒の学力向上に努力している」と肯定する生徒・保護者 80%以上	生徒 91.3% 保護者 87.3%	A	学力向上を図るため、授業を中心に、ICT等も活用しながら各教科で工夫した結果、生徒・保護者ともに目標数値を満たすことができた。次年度も引き続き生徒の学力向上に努めていきたい。
		● 理数科生徒及び担当職員課題研究への満足度の向上 ● 各種行事生徒満足度 4.5 以上(満点 5.0 点)	4.5 点	A	理数科行事に加え、各種講演会や他校の課題研究発表会等に参加することができた。次年度は課題研究の充実・発展に向けて取り組みを進める。
イ	高いところざしを育み、進路実現を図る、計画的・組織的・継続的な進路指導を実践する。	● 「学校は、生徒の進路希望に沿った適切な進路指導をしている」と答える生徒・保護者 85%以上	生徒 87.3% 保護者 74.8%	B	生徒に対する進路情報は適切であったが、保護者に対する情報提供が不十分であった。PTA 総会や進路講演会等を通して本校の進路指導を伝える場面・方法を検討する。
		● 「学校は、生徒の進路希望実現のために適切な情報を提供している」と答える生徒・保護者 85%以上	生徒 90.7% 保護者 77.2%	B	生徒に対する進路情報の提供は適切であったが、保護者に対する情報提供が不十分であった。次年度より、全保護者に対して Classiでの情報伝達が可能となるため、進路情報等の広報を活発に行っていく。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ウ	富士高生にふさわしい品位ある態度や行動を促すとともに、リーダーとしての社会性や国際感覚を育む。	● 「学校は基本的な生活習慣を身に付けるよう適切な指導をしている」と答える生徒・保護者 90%以上	生徒 88.2% 保護者 84.0%	B	おおむね基本的な生活習慣は身につけているが、挨拶については課題が残る。次年度はさらに意識が高まるように取り組みたい。
		● 「頭髪、服装指導等、学校の生徒指導に共感できる（理解している）」と答える生徒・保護者 90%以上	生徒 83.4% 保護者 89.7%	B	保護者の共感は得られているが、生徒の理解を高める必要がある。校内ルールの理解を高めていくために次年度は掲示等を活用していきたい。
		● 「富士高生のモラルやマナーはよい」と肯定する生徒・保護者 90%以上	生徒 78.3% 保護者 94.2%	B	生徒の評価が低い。生徒はどのような点でマナーやモラルが足りないと感じているか、生徒アンケート等を通じて実態を知り、対策を考えていくこともできる。生徒たちの意識を高めるため、部活動や学校行事などを活用していきたい。
		● 国際感覚の涵養等に資する研修会等への参加生徒の増加	39人参加 (16人増加)	A	コロナ禍で中断されていた交流活動ができるようになったため、参加生徒数が増えた。例年実施しているグローバルスタディズプログラムや学校交流なども積極的に広報していきたい。
		● 自転車事故件数 15件以下	13件 (12/21 現在)	A	自転車と自動車の接触事故の発生が多くを占めた。自転車通学者も多く重大事故につながるため、交通ルール講習などを実施していきたい。
		● 「学校の交通事故等に関する指導は適切である」と答える生徒・保護者 90%以上	生徒 88.3% 保護者 81.6%	A	スタントマンによる交通安全教室の実施などにより生徒の肯定率は高まった。次年度は、家庭と協力しながら交通安全に取り組めるようにしたい。
		● いじめ0件	0件	A	人権尊重の精神を授業や部活動、行事等のあらゆる場面で培う。
		● 非行等の問題行動 0件	1件	B	人権を尊重する意識の高揚により、問題行動を防止できるようにしていきたい。
エ	豊かな感性を育み、心身の健康の保持・増進を図る。	● 学校図書館の蔵書の貸出数 1800冊以上	1,666冊 (12/21 現在)	A	LHR の読書活動においては、図書委員が運営に当たり、読書への関心を高めた。生徒にアンケートを取り、選書した本を購入して、図書室の蔵書の充実を図った。
		● 「学校は生徒の健康、安全、衛生面に配慮している」と答える生徒・保護者 85%以上	生徒 79.5% 保護者 78.0%	B	新型コロナ対策を厳重に行っていた昨年度とコロナが5類に移行した今年度5月以降で、注意喚起の回数は異なったが、取組に大きな変更はなかった。
		● 「学校は悩みや相談に適切に対応している」と答える生徒・保護者 80%以上	生徒 80.3% 保護者 72.1%	B	生徒は「適切に対応している」と80%以上が回答している。次年度は、保護者の安心感を上げるためにSCやSSWについて紹介していきたい。
		● 学習環境の改善・安全対策修繕 10か所以上	31か所	A	職員からの連絡や校内巡視で気づいた不良箇所について、まず現状を確認し、校内修繕又は業者依頼している。次年度も同様に早期対応していく。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
オ	組織的な学校運営と家庭・地域等への情報発信により、信頼関係を築く。	● 週に1回以上、学校ホームページを更新する。	76回	A	校内の教育活動の様子、部活動の実績等の情報を迅速に提供できた。次年度は、より見やすいページを目指して作成していきたい。
		● 「学校からの情報は内容に富み参考になる」と答える生徒・保護者 80%以上	生徒 67.1% 保護者 78.7%	C	生徒・保護者とも低い肯定率になっている。ホームページに掲載する記事の内容や紙媒体で配付するべきものがあるかどうか、あるいはホームページを見てもらうための工夫ができないかなどについて再度検討していきたい。
		● 「研修等を通し、不祥事根絶に向けた意識が高まっている」と答える教職員 100%	100.0%	A	職員会議や職員打合せでコンプライアンス通信などを活用した。また、不祥事根絶に向けたグループワークなどを実施し、意識の向上につなげた。
		● 「防災意識が高まった」と答える生徒・教職員 80%以上	生徒 80.8% 教職員 91.1%	A	防災訓練の内容に「防災クイズ」を導入した。担当生徒が研究し、グループ活動を実施することで生徒一人一人が共有できた。
		● 「家庭で防災に関する話し合いを行った」と答える生徒・保護者 50%以上	生徒 51.9% 保護者 64.7%	A	防災訓練や防災講話を通して啓蒙を行い、被災時の行動等について意識が高まった。また、防災の備えについても家族で共有できた。
カ	適切な事務の執行を行い、信頼される事務室を目指す。	● 監査における指摘0件	0件	A	規則等を確認することはもとより、疑問点は出納機関にも問い合わせることにより誤りを減らすことができた。
		● 経営予算執行残が0.5%未満	達成見込み	A	執行残は目標通りにできたが、そもそもの予算が少ないことが問題である。引き続き予算の増を要望していく。
		● 施設設備における事故発生0件	0件	A	不良箇所の早期対応により事故はなかったが、古い設備が多いため、突発的な故障等が多い。順次設備更新を要望していく予定である。
キ	働き方改革を踏まえた業務改善を推進する。	● 1分掌1業務改善の提言	14分掌中 12分掌	A	各分掌で工夫しながら業務にあたることで、多くの分掌で業務改善が行われた。ICT機器を活用することでさらなる業務改善が見込まれる。
		● 「部活動ガイドライン」の趣旨を遵守している部活動 100%	100.0% (12/31時点での平日・休日の休養日数達成率)	A	全ての部活動が、部活動ガイドラインに則った運営を行った。次年度も継続していく。
		● 年休取得前年度比増(最低5日以上)	前年度比 +9.4%	A	夏季休業中など年次休暇、夏季休暇等の積極的な取得を呼びかけ、年休取得を増やすことができた。

(2) 令和6年度の取組目標・達成方法・成果目標

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	日常的な授業改善への取組等を通し、生徒の主体的な学びを促し、学力の向上を図る。	授業改善への取組と高い学力の育成 ● 授業公開や予備校講座への参加等による教員相互の授業研究や研修、「高校生のための学びの基礎診断」を活用した生徒の学力等の把握・検証を通じ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に、積極的・意欲的に取り組む。 ● 総合的な探求の時間における探究活動（「心見考」）の実践や授業改善、主体的に学びに向かう力をはじめ、高大接続改革等に対応した高い学力の育成を図る。 ● 国及び県の推奨する保護者負担による1人1台端末の本格整備を踏まえ、全ての教科において ICT（タブレット）を効果的に活用した授業実践を推進する。 ● 新学習指導要領の本格実施に向け、授業改善につながる「富士高型観点別学習評価」を確立する。	● 「授業(分かりやすさ、意欲等)は概ね適切」と答える生徒・保護者 90%以上 ● 「授業改善に取り組んだ」と答える教員 100% ● 「タブレットを効果的に授業に活用している」と答える教員 100% ● 「主体的に学習に取り組んでいる」と答える生徒・保護者 85%以上、「学校は生徒の学力向上に努力している」と答える生徒・保護者 80%以上	教務 研修 学年 情報推進
		理数教育の推進 ● 課題研究の一層の充実を図る。 ● 県教委主催事業等の活用を図る。	● 理数科生徒及び担当教員課題研究への満足度の向上 ● 各種行事生徒満足度 4.5 以上(満点 5.0)	理数
イ	高いところざしを育み、進路実現を図る、計画的・組織的・継続的な進路指導を実践する。	将来を見据えた進路指導の充実 ● 職場体験、進路講演会、大学訪問等により、主体的な進路選択ができる能力等を育む。 ● 入試検討会や校内研修会により、計画的な進学指導を行う。	● 「学校は、生徒の進路希望に沿った適切な進路指導をしている」と答える生徒・保護者 85%以上	進路 研修
		的確な進路情報の収集と分析及び生徒・保護者への提供 ● 各種研修会への参加等を通し進路情報を収集し全職員で共有するとともに、生徒・保護者へ適切に提供する。併せて、共通テスト、個別学力試験等の研究に基づいた分析結果を、指導内容に反映させる。	● 「学校は、生徒の進路希望実現のために適切な情報を提供している」と答える生徒・保護者 85%以上	
ウ	富士高生にふさわしい品位ある態度や行動を促すとともに、リーダーとしての社会性や国際感覚を育む。	基本的な生活習慣の確実な定着 ● 登校指導や声掛け指導により、「正しい服装」「時間の遵守」を徹底し、「挨拶」の励行を図る。	● 「学校は基本的な生活習慣を身に付けるよう適切な指導をしている」と答える生徒・保護者 90%以上 ● 「頭髪、服装指導等、学校の生徒指導に共感できる（理解している）」と答える生徒・保護者 90%以上	生徒
		自主自立の精神、集団におけるモラル・マナーの育成 ● 部活動、学校行事、生徒会活動への積極的な参加を奨励するとともに、他者との関わりの中から集団におけるモラルやマナーを身に付けさせる。	● 「富士高生のモラルやマナーはよい」と答える生徒・保護者 90%以上	生徒
		国際感覚の涵養と交流啓発 ● コロナ禍において可能な国際交流の手段を工夫かつ奨励し、国際感覚の涵養を図る。	● 国際感覚の涵養等に資する研修会等への参加生徒の増加	研修
		交通安全意識の向上 ● 被害者・加害者にならない指導を徹底し、自転車等による事故を防止する。	● 自転車事故件数 15 件以下 ● 「学校の交通事故等に関する指導は適切である」と答える生徒・保護者 90%以上	生徒
		人権尊重の精神の育成 ● 「富士高校いじめ防止基本方針」に則り、いじめを許さない意識の高揚を図るとともに、人権尊重の精神を涵養する。	● いじめ0件 ● 非行等の問題行動0件	生徒 教育相談

エ	豊かな感性を育み、心身の健康の保持・増進を図る。	感性を育む活動の推進 ● 読書週間やコンクール等を有効活用し、読書活動を推進する。 ● 芸術鑑賞会の充実を図る。	● 学校図書館の蔵書の貸出数 1700 冊以上	図書
		生徒の健康状態の把握と対応 ● 毎朝の健康観察により、生徒の健康状況を確実に把握し、養護教諭等と連携して早期に対応する。 ● スクールカウンセラー等を活用した教育相談体制の周知と充実を図る。 ● 薬学講座等を通じて命の大切さを学ぶ。	● 「学校は生徒の健康、安全、衛生面に配慮している」と答える生徒・保護者 85%以上 ● 「学校は悩みや相談に適切に対応している」と答える生徒・保護者 80%以上 ● 講演会等の実施	保健環境 教育相談
		教育環境の整備・充実 ● 安全点検・施設設備点検を行い、危険箇所等の把握に努め改善する。	● 学習環境の改善・安全対策修繕 10 か所以上	保健環境 事務
オ	組織的な学校運営と家庭・地域等への情報発信により、信頼関係を築く。	教育活動の積極的な発信 ● 学校ホームページ等により、情報発信に努める。 ● 地域中学校との連携を図り、学校説明会、授業公開、中学校訪問などを充実させる。	● 週に1回以上、学校ホームページを更新する。 ● 「学校からの情報は内容に富み参考になる」と答える生徒・保護者 80%以上	研修 教務 情報推進 管理職
		不祥事根絶の徹底 ● 全教職員を対象とする校内研修を計画的に実施することにより、不祥事根絶への強い意識を維持する。	● 「研修等を通し、不祥事根絶に向けた意識が高まっている」と答える教職員 100%	管理職 事務
		地域と連携した防災活動 防災意識の向上 ● 様々な場面を想定した実践的内容の防災訓練を実施する。 ● 広報活動を通じて防災に関する啓蒙を行う。	● 「防災意識が高まった」と答える生徒・教職員 80%以上 ● 「家庭で防災に関する話し合いを行った」と答える生徒・保護者 50%以上	総務
カ	適切な事務の執行を行い、信頼される事務室を目指す。	適切な事務執行と予算の有効活用 ● 法令遵守を根本に、円滑な学校教育活動の実施を支援する。	● 監査における指摘0件 ● 経営予算執行残が 0.5%未満	事務
		施設設備の保全と安全対策 ● 定期点検や早期修繕に努め、老朽化等による事故発生を防ぐ。	● 施設設備における事故発生0件	
キ	働き方改革を踏まえた業務改善を推進する。	多忙化解消のための業務改善の推進 ● 目的に立ち返って学校行事等の意義を見直す。 ● 会議、印刷物等の縮減を図る。	● 1分掌1業務改善の提言	企画委員会
		健全な部活動の推進 ● 部活動の目的・意義を踏まえつつ、生徒・教員にとって無理のない活動時間を設定する。	● 「部活動ガイドライン」の趣旨を遵守している部活動 100%	生徒
		教職員の健康を守る勤務管理 ● 教職員の休暇取得を励行する。 ● 定時退勤日を厳守し、職員室等で残留する業務を縮減する。	● 年休取得前年度比増(最低5日以上) ● 時間外業務時間の対前年比5%減少	管理職

《 定時制の課程 》

(1) 令和5年度を取組目標への評価及び成果と課題

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	授業改善を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 測定ツールで把握した生徒の実態や研修の成果等を基に、「授業改善に取り組んだ」と答える教員 100% ● 6月と11月に全学年を対象とする授業アンケートで生徒の学習意欲が向上する。「授業に積極的に取り組んでいる」と答える生徒 90%以上 	100% 6月 86% 11月 91%	A	研修の一環として年度内に2回アンケートを行い、計画、実行、評価、改善のサイクルを回した。教員が各自の課題に気づき、研鑽に励んだ結果、2回目の授業アンケートでは、1回目と比較し、すべての項目において数値が向上した。 年間を通じて、ほとんどの生徒は落ち着いた雰囲気の中で授業に参加できている。特別な支援を要する生徒、日本語能力に課題のある生徒の増加に伴い、多様なニーズに応じた指導方法の確立を目指し、すべての生徒が希望する進路を実現できるよう、一層の授業改善に取り組む。
	学校生活の満足度を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 高校生活に「満足している」、授業内容が「わかる」生徒の割合を90%以上にする。 	「満足している」 90% 「わかる」 86%	B	授業や学校行事を通して生徒に成功体験を積み重ね、卒業までに自己有用感を高めることができるよう指導を継続してきた。調査の結果、1年生と4年生の自己有用感が中間学年と比較して低いことがわかった。今後への不安が大きい新入生、卒業生を対象にソーシャルスキルトレーニングを導入するなどして、勇気づけを行っていききたい。
イ	出席率を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 年間出席率 95%以上にする。 	94% (1月末時点)	A	出席率と欠席日数には相関関係があるため、欠席の多い生徒に対しては、教務課と担任が協力して個別面談を行っている。また、保護者との連絡を密にし、教員間の情報共有を徹底することで、欠席の長期化を予防している。これらの対策が功を奏し、5月以降に新型コロナウイルス濃厚接触者の出席停止がなくなっても、本校生徒は依然として高い出席率を維持できている。次年度も継続していききたい。
ウ	学校の内外において、生徒会活動の場を広げる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 校内の行事に積極的に参加し、校内文化祭・合同文化祭を成功させる。 	校内文化祭は、昨年度に引き続き、全学年で体験型イベントを行った。 静岡県東部高等学校定時制通信制合同文化祭は、展示部門、ステージ部門の両方に参加した。	A	校内文化祭では、初の試みでキッチンカー2台を導入した。 当日は保護者や卒業生が50人来校、全日制生徒が延べ340人来場し、大盛況であった。 合同文化祭には美術や書道の作品36点を展出し、中でも4年生の絵画が好評を博した。ステージ部門では4年生が生活体験を発表したほか、2、3年生がギター弾き語りを披露して会場を盛り上げた。他校定時制生徒とあたたかい交流ができた。

	部活動や各種コンクールへの参加を奨励する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 全国大会や東海大会等の出場者、コンクール入賞者を10人以上にする。 ● 定期的に活動する部活動の人数を30人以上にする。 ● 学校行事・生徒会活動、部活動に「積極的に参加している」と答える生徒85%以上 	7人 67%	B	<p>柔道5人、陸上競技1人、自転車競技1人が全国大会へ出場した。柔道5人は東海大会へも出場し、男子団体戦では優勝に輝くなど、運動部の活躍が顕著であった。</p> <p>静岡県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会には、2人が地区予選を勝ち抜いて出場し、2人とも優秀賞を受賞した。</p> <p>放課後の活動時間が限られていることもあり、積極的に参加する生徒は限られているが、それらの生徒が多面で活躍し、学校の活性化に貢献している。</p>
エ	健康、体力の増進についての自覚を促す。	<ul style="list-style-type: none"> ● 新体力テストにおける優秀校の表彰を目指す。 	新体力テスト優良校に選出された。	B	<p>体育の授業では、安全に配慮しながら、生徒の体力増進に努めた。生徒会メンバーを中心に球技大会を開催し、ソフトバレーボールを通して、クラスの協働性を高めることができた。</p>
オ	保護者、地域との信頼を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ● 保護者アンケートで「入学させてよかった」を95%以上にする。 	97%	A	<p>地域の中学校、関係機関と細やかな情報共有を行い、途切れない支援を心掛け、保護者の不安を少しでも軽減するよう努めた。今後は、特別支援学校のセンター的機能を活用し、特性が強い生徒への対応を検討する。</p>
カ	働き方改革を踏まえた業務改善を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 1分掌1業務改善の提言 	ICT活用と議題の事前共有により会議時間を短縮した。各分掌から業務改善の提案がされた。	A	<p>教員間で声を掛け合い、繁忙期には担当者の業務を分担するなど、相互支援体制ができています。学校全体の教育力を落とさず、行事の精選を進め、働き方改革を推進していきたい。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ● 年休取得前年度比増（最低5日以上） 	19.6日	A	<p>教員の年休取得日数は県教育委員会の数値目標である16日を達成したほか、男性教員が育児休業を取得するなど、心身の健康維持とモチベーションの向上につながった。</p>

(2) 令和6年度の取組目標・達成方法・成果目標

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	授業改善を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 定通教育研究会作成問題を「学びの基礎診断」の測定ツールとして活用し、生徒の実態把握に努めるとともに、授業アンケートや授業改善研修等を実施し、指導の改善につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 測定ツールで把握した生徒の実態や研修の成果等を基に、「授業改善に取り組んだ」と答える教員100% ● 6月と10月に全学年を対象とする授業アンケートで生徒の学習意欲が向上する。「授業に積極的に取り組んでいる」と答える生徒90%以上 	教務

	学校生活の満足度を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ● ユニバーサルデザインに基づく授業改善と生徒理解に努める。1月に生活アンケートを実施し、その成果を検証する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高校生活に「満足している」、授業内容が「わかる」生徒の割合を90%以上にする。 	教務研修
イ	出席率を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 家庭、職場との連携を図ると共に、統計を活用し、生徒に自覚を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 年間出席率95%以上にする。 	教務担任
ウ	学校の内外において、生徒会活動の場を広げる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 行事への積極的な参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 校内の行事に積極的に参加し、校内文化祭・合同文化祭を成功させる。 	生徒
	部活動や各種コンクールへの参加を奨励する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 県大会やコンクールへの積極的な参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 全国大会や東海大会等の出場者、コンクール入賞者を10人以上にする。 ● 定期的に活動する部活動の人数を30人以上にする。 ● 学校行事・生徒会活動、部活動に「積極的に参加している」と答える生徒85%以上 	生徒
エ	健康、体力の増進についての自覚を促す。	<ul style="list-style-type: none"> ● 保健体育の授業の充実を図るとともに、健康関連の行事を行う。 ● 薬学講座等を通じて命の大切さを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新体力テストにおける優秀校の表彰を目指す。 ● 講演会等を実施する。 	生徒保健
オ	保護者、地域との信頼を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ● 保護者との面談を積極的に行うとともに、地域の要望に素早く対処する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 保護者アンケートで「入学させてよかった」を95%以上にする。 	教頭
カ	働き方改革を踏まえた業務改善を推進する。	多忙化解消のための業務改善の推進 <ul style="list-style-type: none"> ● 目的に立ち返って学校行事等の意義を見直す。 ● 会議、印刷物等の縮減を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1分掌1業務改善の提言 	各担当
		教職員の健康を守る勤務管理 <ul style="list-style-type: none"> ● 教職員の休暇取得を励行する。 ● 職員室等で残留する業務を縮減する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 年休取得前年度比増（最低5日以上） ● 時間外労働時間の前年比減少 	管理職

4 監査対象期間における特色ある取組

《全日制の課程》

<p>令和5年度</p>	<p>○保健活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員救急講習会 対象：新任者、2年部職員 ・薬学講座 ダルク職員による講演 ・思春期講座 講師：感情マネジメント協会代表理事 片田智也 氏 <p>○理数科事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会 富士山講話（1年、7月） 講師：静岡大学 増澤武弘教授 ・野外実習（1年、7月） 富士風穴研修、宝永火口観察、 プラネタリウム体験 ・科学教室（1, 2年、8月） 1年:中学生対象に数学・生物の実験 2年:中学生対象に物理・化学の実験 ・出張講義（1, 2年、9月） 講師：静岡大学 森田 健准教授 ・フィールドワーク（2年、11月） 静岡大学理学部 「サイエンスラボ in 静岡」 ・課題研究（2年、通年） ・勉強会（1, 2年、6月、11月） 理数科1, 2年生の交流を兼ねた勉強会 <p>○国際交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバルスタディプログラムへの参加 （13人） 	<p>○救急体制の充実を目指して心肺蘇生法を中心に実技講習会を実施した。</p> <p>○経験者からの話を直接聞くことで薬物依存の恐ろしさを想像することができた。</p> <p>○受験等の時に持つ不安感情に対して、失敗しても大丈夫と思える感情の持ち方やコミュニケーションの取り方について学んだ。</p> <p>○野外実習（1年）では、事前学習で学んだ生物及び地学の内容を、実際にフィールドで検証し、2学期の「富士山探究」に役立てることができた。</p> <p>○科学教室では、中学生一人一人に丁寧に説明しながら実験を行い、数学や理科の楽しさを伝えた。</p> <p>○フィールドワーク（2年）では、「地球科学」分野の講話を通して学習し、実験実習では偏光顕微鏡を用いて岩石の観察を行い、学問への興味がさらに深まった。</p> <p>○留学生だけでなく、他校の生徒とも英語で交流を深めることができ、多くの生徒が英語を話すことに自信をつけることができた。</p>
<p>令和6年度</p>	<p>○保健活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員救急講習会 対象：新任者、2年部職員 ・薬学講座 作業療法士による講演 ・思春期講座（1, 2年） 講師：東京大学大学院 特任講師 岸 哲史 氏 	<p>○救急体制の充実を目指して心肺蘇生法を中心に実技講習会を実施した。</p> <p>○薬物等の依存症について理解を深め、自己の健康的な生活について意識を持てるようになった。</p> <p>○東京大学の医学系研究科で実施している「子ども睡眠健康プロジェクト」に本校1, 2年生希望者が参加した。その結果分析を中心に講話を行い、「睡眠の大切さ」について理解を深めた。</p>

令和6年度	<p>○理数科事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会 富士山講話（1年、7月） 講師：静岡大学 増澤武弘教授 ・野外実習（1年、7月） 富士風穴研修、宝永火口観察、 プラネタリウム体験 ・科学教室（1，2年、7月） 1年:中学生対象に数学・生物の実験 2年:中学生対象に物理・化学の実験 ・出張講義（1，2年、9月） 講師：静岡県立大学 浅井知浩教授 ・フィールドワーク（2年、11月） 静岡大学理学部 「サイエンスラボ in 静岡」 ・課題研究（2年、通年） ・勉強会（1，2年、6月） 理数科1，2年生の交流を兼ねた勉強会 ・サイエンスツアー（1年、10月） <p>○国際交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバルスタディプログラムへの参加（7人） 	<p>○野外実習（1年）では、事前学習で学んだ生物及び地学の内容を、実際にフィールドで検証し、2学期の「富士山探究」に役立てることができた。</p> <p>○科学教室では、中学生一人一人に丁寧に説明しながら実験を行い、数学や理科の楽しさを伝えた。</p> <p>○フィールドワーク（2年）では、「地球科学」分野の講話を通して学習し、実験実習では偏光顕微鏡を用いて岩石の観察を行い、学問への興味がさらに深まった。</p> <p>○サイエンスツアー（1年）では、国立科学博物館で校外学習を行い、2年次の課題研究を見据えて科学全般の素養を深めた。</p> <p>○留学生だけでなく、他校の生徒とも英語で交流を深めることができ、多くの生徒が英語を話すことに自信をつけることができた。</p>
-------	---	---

《定時制の課程》

	取組概要	成果及び課題
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ○授業評価アンケートの実施と結果の分析により、授業改善に取り組み、わかりやすい授業を実践する。 ○生徒が自ら行動することを目指し、生徒会活動、部活動の活性化を図る。 ○車両点検、交通安全教室、二輪車グッドマナー講習会を開催し、交通事故撲滅に努めるとともに、生徒の規律性を高める。 ○健康の維持および向上に関する啓蒙活動を充実させ、生徒の自己管理を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業アンケート結果から、「わかりやすい」と回答した生徒は93%であった。すべての教員がアンケート結果を基に授業改善に取り組んだ。今後は生徒の自己有用感に加え、粘り強さを育てたい。 ○限られた時間を有効に活用して、東部合同文化祭、校内文化祭、球技大会等の行事に能動的に参加し、成功裏に終えることができた。しかし、生徒の自己評価は存外低かった。 ○交通事故発生件数は3件で、いずれも生徒側の過失はなく、甚大な被害もなかった。日常常に交通ルールの順守を呼びかけるとともに、自転車点検時には保険加入状況を確認し、登校時のヘルメット着用を促す。 ○保健だより、保健委員会だより、給食だよりを定期的に発行し、健康意識の向上に努めた。また、生徒のスマホ利用時間が長時間化していることを危惧し、ノーマディアウィークを設けた。

令和 6 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○授業評価アンケートの実施と結果の分析により、授業改善に取り組み、わかりやすい授業を実践する。 ○生徒が自ら行動することを目指し、生徒会活動、部活動の活性化を図る。 ○車両点検、交通安全教室、二輪車グッドマナー講習会を開催し、交通事故撲滅に努めるとともに、生徒の規律性を高める。 ○健康の維持および向上に関する啓蒙活動を充実させ、生徒の自己管理を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業アンケート結果から、「わかりやすい」と回答した生徒は84%であった。すべての教員がアンケート結果を基に授業改善に取り組んだ。今後は多様なニーズに応じた指導方法の確立を目指し、すべての生徒が希望する進路を実現できるように一層の授業改善に取り組みたい。 ○生徒会の生徒を中心に、生徒自らが企画・運営して、東部合同文化祭、校内文化祭、球技大会等の行事に主体的に参加し、成功裏に終えることができた。 ○交通事故発生件数は0件だった。今後も個通安全意識を高める努力を継続していく。交通ルールの順守を呼びかけるとともに、自転車点検時には保険加入状況を確認し、登校時のヘルメット着用を促す。 ○薬学講座を実施し、麻薬などの危険性を再確認できた。「子ども睡眠健診プロジェクト」を通じて生徒の生活状況を把握できたので、今後の指導の参考にしていきたい。
---------------	---	--

5 教職員について

(1) 令和6年度末異動状況

区分		職名	本務職員							臨時・非常勤職員				小計	合計	
			校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主査	主任	小計	教諭(臨時)	主事(臨時)	会計年度任用職員(非常勤講師・ALT)			会計年度任用職員(非常勤労務職員)
全 日 制	転出者		1	1	1	3		1	1	8					0	8
	退職者				2	1				3			1	1	2	5
	再任用(退職者)				3					3					0	3
	転入者		1	1	1	3	1	1	1	9					0	9
	新任者									0			1	1	2	2
	再任用(新任者)					3				3					0	3
	差引増減		0	0	0	▲2	0	0	0	▲2	0		0	0	0	▲2
定 時 制	転出者				1					1					0	1
	退職者									0	1	1			2	2
	再任用(退職者)									0					0	0
	転入者						1			1					0	1
	新任者				1					1	1				1	2
	再任用(新任者)									0					0	0
	差引増減		0	0	0	0	0	1	0	1	0	▲1	0	0	▲1	0

(2) 現員数(令和7年4月1日)

区分		職名	本務職員										臨時・非常勤職員				小計	合計	
			校長	副校長	教頭	事務長	教諭	養護教諭	主任実習助手	主査	主任	主事	小計	教諭(臨時)	会計年度任用職員(非常勤講師・ALT)	会計年度任用職員(S・C・S・S・W)			会計年度任用職員(非常勤労務職員)
全 日 制	男		1	1		1	28			1	1		33		5		3	8	41
	女				1		16	1	2	1		1	22		5	3		8	30
	計		1	1	1	1	44	1	2	2	1	1	55	0	10	3	3	16	71
定 時 制	男				1		5			1			7	1	2			3	10
	女						1	1					2		5			5	7
	計		0	0	1	0	6	1	0	1	0	0	9	1	7	0	0	8	17
合計			1	1	2	1	50	2	2	3	1	1	64	1	17	3	3	24	88

(3) 健康管理について

教職員の健康管理については、生活習慣病の検診、人間ドック等の一次検査の受診率は100%であった。結果をもとに、要再検査、要精密検査と診断された者には、早期に受診をするよう勧め、疾病の早期治療や健康管理に注意を促すとともに、健康管理医・保健主事・養護教諭がその主な管理と相談を行った。（教職員安全衛生委員会の開催 学校保健委員会の開催 1回(2月)）

(4) 教職員の研修について

《全日制の課程》

(令和5年度)

目 的	<ul style="list-style-type: none">・3観点に基づく授業評価と、評価規準の作成に必要な知識を共有する。・教育相談室より気になる生徒について共通理解を深める。・教師全員が生徒の進路希望や成績を的確に把握し、進路希望の実現に向けて的確にアドバイスする力を養う。
研修内容	(1) 校内研修会 ア 令和4年度卒業生入試結果の検討と反省 イ 「総合的な探究の時間」に関する研修 講師：静岡県総合教育センター高等学校支援課 ウ 教育相談に関する研修 講師：スクールカウンセラー 望月由妃子氏 エ デイベート指導技術講座 オ ICT活用研修（ロイロノート活用実践） (2) 授業相互見学 全職員が1回以上実施 (3) 入試検討会 年間4回
実績（成果）	心見考プログラム（総合的な探究の時間）の目的や評価のあり方について理解を深め、演習を通してこれまでの活動について振り返り、課題を共有することで今後の指導の方向性を共有した。
課 題	<ul style="list-style-type: none">・本校独自の探究プログラムを継続的に実施するために、経費や人的資源の確保等について検討するとともに教員の指導スキルを向上させる。・ICTを用いた授業における学習効果（メリット、デメリット）について検証が必要である。

(令和6年度)

目 的	<ul style="list-style-type: none">・3観点に基づく授業評価について具体的なつけ方を考える。・学習指導における効果的なICTの活用について理解を深める。・教師全員が生徒の進路希望や成績を的確に把握し、進路希望の実現に向けて的確にアドバイスする力を養う。
研修内容	(1) 校内研修会 ア 令和5年度卒業生入試結果の検討と反省 イ 「学習評価に基づいた授業改善」に関する研修 講師：静岡県総合教育センター高等学校支援課 ウ 「授業でのより効果的なICTの活用」に関する研修 講師：本校情報推進室長 白井靖典氏 エ デイベート指導技術講座 オ ICT活用研修（ロイロノート活用実践） (2) 授業相互見学 全職員が1回以上実施 (3) 入試検討会 年間4回
実績（成果）	新課程3年目になり、改めて観点別評価の考えと評価の出し方を確認した。これをもとに、特に「主体的に学習に取り組む態度」の評価について各教科で評価材料や判断基準を話し合った。定期訪問時の校内研修会においては、話し合いで各教科から出た問題点や疑問点に関して、講師からアドバイスを受け、評価の出し方について理解を深めることができた。
課 題	<ul style="list-style-type: none">・新年度に入った時点で、各教科で評価材料や判断基準を確認し、その後授業を実践して評価を出し、授業改善につなげるようにする。・ICTを活用した授業に対する生徒たちの感想を収集し、生徒と教員の双方にとって実施しやすく、かつ利点の多い授業方法を模索していく必要がある。

《定時制の課程》

(令和5年度)

目 的	生徒の資質・能力を育成する特別活動の研究
研 修 内 容	(1) 昨年度の反省と今年度の目標設定 (2) 月例生徒情報交換会の開催 (3) 授業改善の取組についての情報交換会
実 績 (成果) と課題	今年度は生徒についての情報交換を毎月行い、対応を協議した。また、授業評価アンケート、学校生活アンケートを前期と後期の2回行い、PDCAサイクルを構築することで、すべての教員の授業改善につながった。校内研修では、特別支援教育の視点からの指導と支援を重点テーマとして取り上げた。生徒の特性を理解し、教員による指示の仕方、声の掛け方を見直し、生徒が学校生活にさらに意欲的に参加できるよう努めた。今年度は、生徒が課題設定とその解決への取組を通して個々の資質・能力を培い、進路目標を実現することを目指した。次年度はさらに研修を進め、生徒の自己実現に寄与したい。

(令和6年度)

目 的	生徒の資質・能力を育成する特別活動の研究
研 修 内 容	(1) 昨年度の反省と今年度の目標設定 (2) 月例生徒情報交換会の開催 (3) 授業改善の取組についての情報交換会
実 績 (成果) と課題	今年度も生徒についての情報交換を毎月行い、対応を協議した。また、授業評価アンケート、学校生活アンケートを前期と後期の2回行い、PDCAサイクルを構築することで、すべての教員の授業改善につながった。校内研修では、「発達支持的な生徒指導の充実」を重点テーマとして取り上げた。多様な個性を持つ生徒の特性を理解し、生徒が自発的・主体的に成長・発達できるよう支援する方法を学んだ。生徒が学校生活にさらに意欲的に参加できるよう努めていきたい。今後は生徒自身が課題設定とその解決への取組を通して個々の資質・能力を培い、進路目標を実現することを目指していきたい。

6 防災対策について

《全日制の課程》

(令和5年度)

目的及び内容	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的内容の防災訓練の実施（火災や地震想定避難訓練） ・防災についての意識を高め、地域防災訓練への参加を促す。 <p>(1) 防災訓練等</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 巨大地震発生を想定した避難訓練（4月） イ 生徒主体による防災に関する知識の確認と整理（8月） ウ 1年生を対象とした防災講話と災害時判断ゲームの実施（11月） <p>(2) 地域防災連絡会（10月）</p> <p>円滑な避難所運営のために、市、地域住民代表、学校代表で構成する富士高校地域防災連絡会を開催した。</p>
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・災害を身近なものとして捉え、非常時にどのように行動すべきかを想像しながら訓練ができた。 ・地域防災連絡会では避難所としての役割を理解し、具体的な行動を意識した研修ができた。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の対応について生徒、保護者、学校、地域で共通理解を持つこと。

(令和6年度)

目的及び内容	<ul style="list-style-type: none">・実践的内容の防災訓練の実施（火災や地震想定避難訓練）・防災についての意識を高め、地域防災訓練への参加を促す。 (1) 防災訓練等 ア 巨大地震発生を想定した避難訓練（4月） イ 生徒主体による災害状況イメージトレーニング（8月） ウ 1年生を対象とした防災講話（11月） (2) 地域防災連絡会（10月） 円滑な避難所運営のために、市、地域住民代表、学校代表で構成する富士高校地域防災連絡会を開催した。
成果	<ul style="list-style-type: none">・災害を身近なものとして捉え、非常時にどのように行動すべきかを生徒主体で具体的に想像しながら訓練ができた。・地域防災連絡会では避難所としての役割を理解した上で、地域と学校が連携し具体的な行動を意識した研修ができた。
課題	<ul style="list-style-type: none">・緊急時の対応について生徒、保護者、学校、地域で共通理解を持つこと。

《定時制の課程》

(令和5年度)

目的及び内容	<ul style="list-style-type: none">・学校内で被災したときに落ち着いた避難行動を行うことができるように、誘導訓練を実施する。・円滑な避難所運営のために、市、地域住民代表、学校代表で構成する富士高校地域防災連絡会を開催する。・防災講座を実施し、被災時に必要な知識の習得と地域貢献の意識を育てる。
成果	<ul style="list-style-type: none">・静岡県東部地域局危機管理課に依頼し、静岡県ふじのくにジュニア防災士養成講座を実施した。実施後のアンケートでは、参加した生徒の88%が災害発生時に自分やまわりの人の身を守るための適切な行動や対処方法について理解することができたと回答した。生徒53人が静岡県ふじのくにジュニア防災士の認定を受けた。・学校での防災訓練においては、地震災害を想定し、避難・誘導を行った。東日本大震災を体験した教諭に話をしてもらい、主体的に行動することの大切さを強調した。
課題	<ul style="list-style-type: none">・地域の防災訓練への参加率が振るわなかった。来年度も継続して、ふじのくにジュニア防災士養成講座を受講させるなどして、具体的な行動へつなげたい。

(令和6年度)

目的及び内容	<ul style="list-style-type: none">・学校内で被災したときに落ち着いた避難行動を行うことができるように、誘導訓練を実施する。・円滑な避難所運営のために、市、地域住民代表、学校代表で構成する富士高校地域防災連絡会を開催する。・防災講座を実施し、被災時に必要な知識の習得と地域貢献の意識を育てる。
成果	<ul style="list-style-type: none">・静岡県東部地域局危機管理課に依頼し、静岡県ふじのくにジュニア防災士養成講座を実施した。身近なところから防災意識を高めていくことの大切さを学び、日ごろから準備をしておくことを徹底しておく意識が重要であることを痛感した。また災害発生時に自分やまわりの人の身を守るための適切な行動や対処方法を学んでおくことが、自分の身を守ることにつながることを確認できた。・学校での防災訓練においては、地震災害を想定し、避難・誘導を行った。主体的に行動することの大切さを強調した。
課題	<ul style="list-style-type: none">・地域の防災訓練への参加率が振るわなかった。来年度も継続して、ふじのくにジュニア防災士養成講座を受講させるなどして、具体的な行動へつなげたい。

7 学校開放について

富士高等学校の施設等の開放に関する細則に基づき、一般開放を行った。

〈令和5年度〉

種 目	利用日数	場 所	利用者数	受講料	利用者負担金
合気道	30日	柔道場	153人	0円	2,479円
卓球	5日	卓球場	193人	0円	719円
バドミントン	42日	講 堂	408人	0円	5,887円
ハンドボール	26日	体育館	629人	0円	11,908円
テニス	31日	テニスコート	343人	0円	0円
計	134日		1,726人	0円	20,993円

〈令和6年度〉

種 目	利用日数	場 所	利用者数	受講料	利用者負担金
合気道	32日	柔道場	159人	0円	4,120円
バドミントン	41日	講 堂	417人	0円	8,678円
ハンドボール	32日	体育館	849人	0円	23,598円
テニス	26日	テニスコート	298人	0円	0円
バスケットボール	5日	体育館	48人	0円	1,984円
計	134日		1,726人	0円	38,380円

事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関する こと	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第50条、第51条、第52条、第60条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法 理科教育振興法施行令
2 学校の管理・運 営に関する こと	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） いじめ防止対策推進法（第8条） 学校保健安全法（第15条、第27条） 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県教育委員会処務規程 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 静岡県手数料徴収条例 高等学校等就学支援金の支給に関する法律 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行令 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則 高等学校等を中途退学した後再び高等学校等で学び直す者に対して高等学校等就学支援金の支給に関する法律 高等学校等修学支援事業費補助金交付要綱 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 静岡県情報公開条例施行規則 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条） 夜間課程を置く高等学校における学校給食に関する法律（第3条） 高等学校定時制課程及び通信制課程修学補助金交付要綱

学校施設の概要

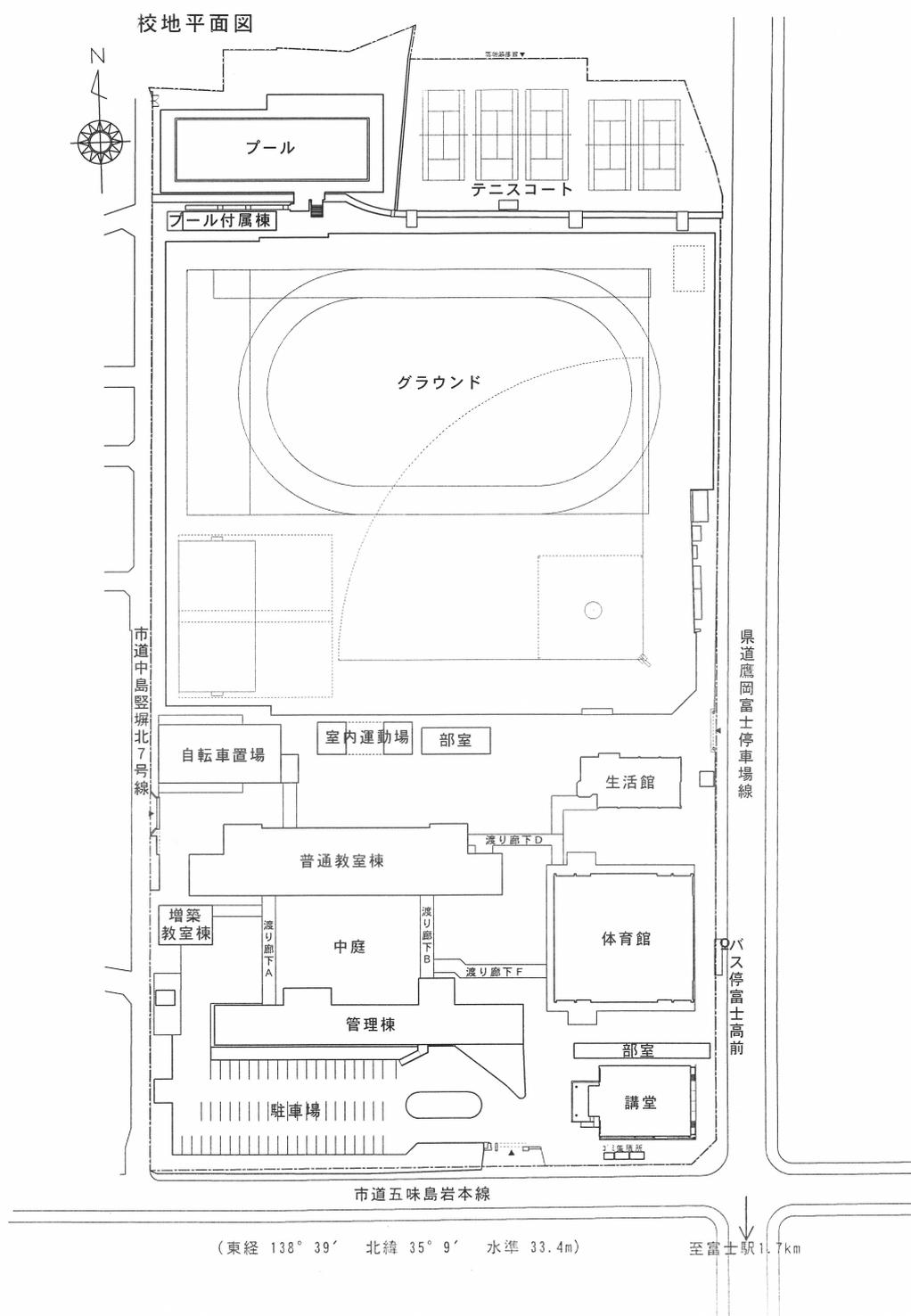
1 面積及び所有区分

(令和7年2月28日現在)

区 分	面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m ²	国 有 m ²	市町村有 m ²	後援会有 m ²	民 有 m ²	
学 校 敷 地	42,496.22m ²	42,496.22m ²					
内 訳	校 舎 敷 地	20,574.33	20,574.33				
	運 動 場 敷 地	21,921.89	21,921.89				
	その他の敷地	0	0				
校 舎	建 2,935.87	建 2,935.87					
	延 10,105.04	延 10,105.04					
体 育 館	建 1,184.08	建 1,184.08					1階 格技場 505.12m ²
	延 2,476.56	延 2,476.56					
その他の建物	建 1,773.13	建 1,701.43			71.70		
	延 2,162.45	延 2,090.75			71.70		
生 活 館	建 331.56	建 331.56					
	延 676.61	延 676.61					
プ ー ル	1	1					7コース 50m×16m

2 配置・規模

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	42,496.22 m ²	10,105.04 m ²	21,921.89 m ²
県平均	45,574.48 m ²	9,807.98 m ²	22,506.84 m ²

在 籍 生 徒 調

学年	学科別 区分		全日制普通科				全日制理数科			
			定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計
1年	入学者		240	130	115	245	40	23	7	30
	⑥	増加		(1)		(1)				
		減少		3	2	5				
	現在			128	113	241		23	7	30
2年	入学者		240	133	112	245	40	22	18	40
	⑤	増加			(1)	(1)				
		減少		(1)	3	2	(1)	5		
	2年時当初			129	111	240		22	18	40
	⑥	増加		1		1				
		減少		1	1	2				
現在			129	110	239		22	18	40	
3年	入学者		240	111	136	247	40	27	14	41
	④	増加								
		減少		1	(1)	2	(1)	3	1	1
	2年時当初			110	133	243		26	14	40
	⑤	増加			(1)	(1)				
		減少		3	3	6		1		1
	3年時当初			107	131	238		25	14	39
	⑥	増加								
減少										
現在			107	131	238		25	14	39	
4年	入学者									
	③	増加								
		減少								
	2年時当初									
	④	増加								
		減少								
	3年時当初									
	⑤	増加								
		減少								
	4年時当初									
⑥	増加									
	減少									
現在										
合計			720	364	354	718	120	70	39	109

※ () は、原級留置者等。外数

(令和 7年 2月28日現在)

(全日制合計)				定時制普通科				(全日制・定時制合計)			
定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計
280	153	122	275	40	18	12	30	320	171	134	305
	(1)		(1)			(1)	(1)		(1)	(1)	(2)
	3	2	5		2	2	4		5	4	9
	151	120	271		16	11	27		167	131	298
280	155	130	285	40	9	14	23	320	164	144	308
		(1)	(1)							(1)	(1)
	(1)		(1)			(1)	(1)		(1)	(1)	(2)
	3	2	5		2	2	4		5	4	9
	151	129	280		7	11	18		158	140	298
	1		1						1		1
	1	1	2		2	1	3		3	2	5
	151	128	279		5	10	15		156	138	294
280	138	150	288	40	13	13	26	320	151	163	314
		(1)	(1)							(1)	(1)
	2	2	4			5	5		2	7	9
	136	147	283		13	8	21		149	155	304
		(1)	(1)		1		1		1	(1)	(1)
	4	3	7						4	3	7
	132	145	277		14	8	22		146	153	299
					2	1	3		2	1	3
	132	145	277		12	7	19		144	152	296
				40	11	9	20	40	11	9	20
					(1)		(1)		(1)		(1)
					12	9	21		12	9	21
					12	9	21		12	9	21
					1	1	2		1	1	2
					11	8	19		11	8	19
					11	8	19		11	8	19
840	434	393	827	160	44	36	80	1000	478	429	907

入学志願者及び入学者数調

区 分		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
学 科 別		全日制課程									
		普通科	理数科								
生徒定員(A)		240	40	240	40	240	40	240	40	200	40
募集者数(B)		240	40	240	40	240	40	240	40	200	40
志願者数	男	129	36	128	38	176	19	136	21	122	24
	女	121	11	143	23	124	18	116	7	102	16
	計(C)	250	47	271	61	300	37	252	28	224	40
受検者数	男	128	36	122	38	174	19	136	21	122	24
	女	121	11	143	23	124	18	116	7	102	16
	計(D)	249	47	265	61	298	37	252	28	224	40
合格者数	男	126	30	111	27	133	22	130	23	110	24
	女	120	11	136	14	112	18	115	7	98	16
	計(E)	246	41	247	41	245	40	245	30	208	40
志願倍率 (C)/(B)		1.04	1.18	1.13	1.53	1.25	0.93	1.05	0.70	1.12	1.00
受検倍率 (D)/(B)		1.04	1.18	1.10	1.53	1.24	0.93	1.05	0.70	1.12	1.00
入学者数	男	126	30	111	27	133	22	130	23	110	24
	女	120	11	136	14	112	18	115	7	98	16
	計(F)	246	41	247	41	245	40	245	30	208	40
充足率 (F)/(A)		1.03	1.03	1.03	1.03	1.02	1.00	1.02	0.75	1.04	1.00

入学志願者及び入学者数調

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学 科 別		定時制課程	定時制課程	定時制課程	定時制課程	定時制課程
		普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
生徒定員 (A)		40	40	40	40	40
募集者数 (B)		40	40	40	40	40
志願者数	男	12	12 (1)	7 (2)	22 (1)	13 (2)
	女	9	12 (1)	13 (2)	13	8
	計 (C)	21	24 (2)	20 (4)	35 (1)	21 (2)
受検者数	男	12	12 (1)	7 (2)	22 (1)	12 (2)
	女	9	12 (1)	13 (2)	13	8
	計 (D)	21	24 (2)	20 (4)	35 (1)	20 (2)
合格者数	男	11	12 (1)	7 (2)	19	14
	女	9	12 (1)	13 (1)	12	8
	計 (E)	20	24 (2)	20 (3)	31	22
志願倍率 (C)/(B)		0.53	0.60	0.50	0.88	0.53
受検倍率 (D)/(B)		0.53	0.60	0.50	0.88	0.50
入学者数	男	11	13	9	18	14
	女	9	13	14	12	8
	計 (F)	20	26	23	30	22
充足率 (F)/(A)		0.50	0.65	0.58	0.75	0.55

卒業生の動向調

(高等学校用)

1 進路状況 (全日制)

学 科 別		全日制課程普通科			全日制課程理数科			計			
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
卒 業 生 徒 数		238	241	238	39	37	39	277	278	277	
内 訳	(進学志願者)	(238)	(241)	(237)	(39)	(37)	(39)	(277)	(278)	(276)	
	進 学 者	大学・短大	222	218	218	29	34	33	251	252	251
		専修・各種学校等	3	6	3	2	0	0	5	6	3
		小 計	225	224	221	31	34	33	256	258	254
	就 職 者	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
	自 営 者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	進学準備者	11	17	16	8	3	6	19	20	22	
そ の 他	2	0	0	0	0	0	2	0	0		
合 計		238	241	238	39	37	39	277	278	277	

(定時制)

学 科 別		定時制課程普通科			
年 度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
卒 業 生 徒 数		11	19	19	
内 訳	(進学志願者)	(0)	(4)	(2)	
	進 学 者	大学・短大	0	1	2
		専修・各種学校等	0	1	0
		小 計	0	2	2
	就 職 者	9	9	14	
	自 営 者	0	0	0	
	進学準備者	0	2	0	
そ の 他	2	6	3		
合 計		11	19	19	

2 求人状況(全日制のみ)

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
就職希望者数	0	0	0
求 人 数	0	0	0
求 人 倍 率	0	0	0

3 資格取得状況 (令和6年度)

学 科 別	全日制	定時制	計
卒 業 生 徒 数	277	19	296
資格の取得状況			
情報処理技能検定表計算準2級	0	2	2
合 計	0	2	2

生徒の状況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(全 日 制)

(1) 出身地 (令和7年2月28日現在)(単位:人)

市 町 名	富士市	富士宮市	その他	合 計
生徒数	588	220	19	827
構成比%	71%	27%	2%	100%

(2) 通学方法 (令和7年2月28日現在)(単位:人)

区 分	徒 歩	自 転 車	バ ス	電 車	その他	合 計
生徒数	100	467	10	234	16	827
構成比%	12%	57%	1%	28%	2%	100%

(定 時 制)

(1) 出身地 (令和7年2月28日現在)(単位:人)

市 町 名	富士市	富士宮市	その他	合 計
生徒数	77	0	3	80
構成比%	96%	0%	4%	100%

(2) 通学方法 (令和7年2月28日現在)(単位:人)

区 分	徒 歩	自 転 車	原付自転車	四 輪	その他	合 計
生徒数	9	33	4	7	27	80
構成比%	11%	41%	5%	9%	34%	100%

(3) 生徒の年齢 (令和7年2月28日現在)(単位:人)

区 分	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳超	計
1 年	1	21	2	2	0	0	0	0	0	0	1	27
2 年	0	1	13	0	0	1	0	0	0	0	0	15
3 年	0	0	1	15	2	0	1	0	0	0	0	19
4 年	0	0	0	3	15	1	0	0	0	0	0	19
計	1	22	16	20	17	2	1	0	0	0	1	80

(4) 生徒の就業状況 (令和7年2月28日現在)(単位:人)

区 分	建 設	製 造	卸小売	サービス業	運輸・通信	その他	無 職	計
1 年	1	2	2	1	0	5	16	27
2 年	0	1	8	1	0	0	5	15
3 年	0	3	9	1	0	1	5	19
4 年	0	4	8	0	0	2	5	19
計	1	10	27	3	0	8	31	80

2 部(クラブ)の加入状況

(全 日 制)

(令和7年2月28日現在)(単位:人)

区 分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		17	15		32
男子	1 年	97	54	0	151
	2 年	105	46	0	151
	3 年	86	46	0	132
	計(A)	288	146	0	434
	構成比	66%	34%	0%	100%
女子	1 年	42	78	0	120
	2 年	43	85	0	128
	3 年	43	102	0	145
	計(B)	128	265	0	393
	構成比	33%	67%	0%	100%
(A+B)		416	411	0	827
合計	構成比	50%	50%	0%	100%

(定 時 制)

(令和7年2月28日現在)(単位:人)

区 分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		9	4		13
男子	1 年	14	2	0	16
	2 年	5	0	0	5
	3 年	12	0	0	12
	4 年	9	2	0	11
	計(A)	40	4	0	44
	構成比	91%	9%	0%	100%
女子	1 年	9	2	0	11
	2 年	6	4	0	10
	3 年	6	1	0	7
	4 年	6	2	0	8
	計(B)	27	9	0	36
	構成比	75%	25%	0%	100%
(A+B)		67	13	0	80
合計	構成比	84%	16%	0%	100%

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和5年度	令和6年度 (令和7年2月28日)
	件 数	件 数
高等学校入学検定料（全日制）	278	269
高等学校入学検定料（定時制）	36	22
計	314	291

(全日制)

授 業 料 収 納 状 況 調

期 別	月 別	調 定 の 状 況								収 納 の 状 況			
		1 年		2 年		3 年		計		納 期 内 収 納 額		納 期 後 収 納 額	収 入 未 済 額
		人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	円	%		
一 期	4	人	円	人	円	人	円	人	円	円	%	円	円
	5												
	6	1	9,900					1	9,900	9,900	100.00	0	0
	7	112	3,326,400	113	3,356,100	104	3,088,800	329	9,771,300	9,622,800	98.48	0	148,500
	8											148,500	0
	計	113	3,336,300	114	3,385,800	105	3,118,500	332	9,840,600	9,692,100	98.49	148,500	0
二 期	7												
	8												
	9												
	10	118	5,841,000	105	5,197,500	113	5,593,500	337	16,661,700	16,265,700	97.62	0	396,000
	11	▲ 1	▲ 9,900			▲ 1	▲ 9,900	▲ 2	▲ 19,800	▲ 19,800		396,000	0
	計	117	5,831,100	106	5,227,200	112	5,583,600	335	16,641,900	16,245,900	97.62	396,000	0
三 期	12												
	1	116	4,593,600	104	4,118,400	111	4,395,600	334	13,137,300	13,058,100	99.39	0	79,200
	2	1	9,900	1	9,900	1	9,900					79,200	0
	3												
	計	117	4,603,500	105	4,128,300	112	4,405,500	334	13,137,300	13,058,100	99.39	79,200	0
合計	347	13,770,900	325	12,741,300	329	13,107,600	1,001	39,619,800	38,996,100	98.42	623,700	0	

異 動 者 等 の 状 況

A. 期首収納権利発生額＝				9,830,700 円			
$\left[\begin{array}{l} 1 \text{年} \\ 2 \text{年} \\ 3 \text{年} \end{array} \right.$	112 人	×	9,900 円	×	3 月	=	3,326,400 円
	114 人	×	9,900 円	×	3 月	=	3,385,800 円
	105 人	×	9,900 円	×	3 月	=	3,118,500 円
B. 収納権利増減額＝				9,900 円			
	〈内訳〉						
	6月12日	1年 復学	1	1人×9,900円×1月	=	9,900円	
C. 収納必要額 A+B＝				9,840,600 円			

A. 期首収納権利発生額＝				16,681,500 円			
$\left[\begin{array}{l} 1 \text{年} \\ 2 \text{年} \\ 3 \text{年} \end{array} \right.$	118 人	×	9,900 円	×	5 月	=	5,841,000 円
	106 人	×	9,900 円	×	5 月	=	5,247,000 円
	113 人	×	9,900 円	×	5 月	=	5,593,500 円
B. 収納権利増減額＝				▲ 39,600 円			
	〈内訳〉						
	9月30日	2年 転学	▲1	1人×9,900円×2月	=	▲19,800円	
	10月31日	1年 転学	▲1	1人×9,900円×1月	=	▲9,900円	
	10月31日	3年 転学	▲1	1人×9,900円×1月	=	▲9,900円	
C. 収納必要額 A+B＝				16,641,900 円			

A. 期首収納権利発生額＝				13,226,400 円			
$\left[\begin{array}{l} 1 \text{年} \\ 2 \text{年} \\ 3 \text{年} \end{array} \right.$	117 人	×	9,900 円	×	4 月	=	4,633,200 円
	105 人	×	9,900 円	×	4 月	=	4,158,000 円
	112 人	×	9,900 円	×	4 月	=	4,435,200 円
B. 収納権利増減額＝				▲ 89,100 円			
	〈内訳〉						
	12月31日	2年 転学	▲1	1人×9,900円×3月	=	▲29,700円	
	12月31日	1年 転学	▲1	1人×9,900円×3月	=	▲29,700円	
	12月31日	3年 退学	▲1	1人×9,900円×3月	=	▲29,700円	
C. 収納必要額 A+B＝				13,137,300 円			

D. 収納必要額 = 39,619,800 円

(定時制)

授 業 料 収 納 状 況 調

期 別	月	調 定 の 状 況									
		1 年		2 年		3 年		4 年		計	
		人員	調 定 額	人員	調 定 額	人員	調 定 額	人員	調 定 額	人員	調 定 額
		人	円	人	円	人	円	人	円	人	円
一 期	4										
	5	1	2,700							1	2,700
	6										
	7	▲ 1 0	▲ 2,700 0	1	8,100	2	16,200	0	0	▲ 1 3	▲ 2,700 24,300
	8										
	計	0	0	1	8,100	2	16,200	0	0	3	24,300
二 期	7										
	8										
	9										
	10	0	0	1	13,500	1	13,500	1	13,500	3	40,500
	11										
	計	0	0	1	13,500	1	13,500	1	13,500	3	40,500
三 期	12										
	1	0	0	1	10,800	1	10,800	1	10,800	3	32,400
	2										
	3										
	計	0	0	1	10,800	1	10,800	1	10,800	3	32,400
合計	0	0	3	32,400	4	40,500	2	24,300	9	97,200	

(令和5年度)

収 納 の 状 況				異 動 者 等 の 状 況																																												
納 期 内 取 納 額	納 期 後 取 納 額	取 入 未 済 額																																														
円	取 納 率 %	円	円																																													
				A. 期首収納権利発生額= 24,300 円																																												
				<table style="border: none;"> <tr> <td style="border: none;">1年</td> <td style="border: none;">0人</td> <td style="border: none;">×</td> <td style="border: none;">2,700</td> <td style="border: none;">円</td> <td style="border: none;">×</td> <td style="border: none;">3</td> <td style="border: none;">月</td> <td style="border: none;">=</td> <td style="border: none;">0</td> <td style="border: none;">円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">2年</td> <td style="border: none;">1人</td> <td style="border: none;">×</td> <td style="border: none;">2,700</td> <td style="border: none;">円</td> <td style="border: none;">×</td> <td style="border: none;">3</td> <td style="border: none;">月</td> <td style="border: none;">=</td> <td style="border: none;">8,100</td> <td style="border: none;">円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">3年</td> <td style="border: none;">2人</td> <td style="border: none;">×</td> <td style="border: none;">2,700</td> <td style="border: none;">円</td> <td style="border: none;">×</td> <td style="border: none;">3</td> <td style="border: none;">月</td> <td style="border: none;">=</td> <td style="border: none;">16,200</td> <td style="border: none;">円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">4年</td> <td style="border: none;">0人</td> <td style="border: none;">×</td> <td style="border: none;">2,700</td> <td style="border: none;">円</td> <td style="border: none;">×</td> <td style="border: none;">3</td> <td style="border: none;">月</td> <td style="border: none;">=</td> <td style="border: none;">0</td> <td style="border: none;">円</td> </tr> </table>	1年	0人	×	2,700	円	×	3	月	=	0	円	2年	1人	×	2,700	円	×	3	月	=	8,100	円	3年	2人	×	2,700	円	×	3	月	=	16,200	円	4年	0人	×	2,700	円	×	3	月	=	0	円
1年	0人	×	2,700	円	×	3	月	=	0	円																																						
2年	1人	×	2,700	円	×	3	月	=	8,100	円																																						
3年	2人	×	2,700	円	×	3	月	=	16,200	円																																						
4年	0人	×	2,700	円	×	3	月	=	0	円																																						
2,700	100.00			B. 収納権利増減額= 0 円																																												
				<内訳> 1年 退学 1 1人×2,700円×1月=2,700円 (支援金認定前) 4月28日 1年 退学 ▲1 1人×2,700円×1月=▲2,700円																																												
▲ 2,700	33.33	0	16,200	C. 収納必要額 A+B= 24,300 円																																												
8,100		16,200	0																																													
				A. 期首収納権利発生額= 40,500 円																																												
				<table style="border: none;"> <tr> <td style="border: none;">1年</td> <td style="border: none;">0人</td> <td style="border: none;">×</td> <td style="border: none;">2,700</td> <td style="border: none;">円</td> <td style="border: none;">×</td> <td style="border: none;">5</td> <td style="border: none;">月</td> <td style="border: none;">=</td> <td style="border: none;">0</td> <td style="border: none;">円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">2年</td> <td style="border: none;">1人</td> <td style="border: none;">×</td> <td style="border: none;">2,700</td> <td style="border: none;">円</td> <td style="border: none;">×</td> <td style="border: none;">5</td> <td style="border: none;">月</td> <td style="border: none;">=</td> <td style="border: none;">13,500</td> <td style="border: none;">円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">3年</td> <td style="border: none;">1人</td> <td style="border: none;">×</td> <td style="border: none;">2,700</td> <td style="border: none;">円</td> <td style="border: none;">×</td> <td style="border: none;">5</td> <td style="border: none;">月</td> <td style="border: none;">=</td> <td style="border: none;">13,500</td> <td style="border: none;">円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">4年</td> <td style="border: none;">1人</td> <td style="border: none;">×</td> <td style="border: none;">2,700</td> <td style="border: none;">円</td> <td style="border: none;">×</td> <td style="border: none;">5</td> <td style="border: none;">月</td> <td style="border: none;">=</td> <td style="border: none;">13,500</td> <td style="border: none;">円</td> </tr> </table>	1年	0人	×	2,700	円	×	5	月	=	0	円	2年	1人	×	2,700	円	×	5	月	=	13,500	円	3年	1人	×	2,700	円	×	5	月	=	13,500	円	4年	1人	×	2,700	円	×	5	月	=	13,500	円
1年	0人	×	2,700	円	×	5	月	=	0	円																																						
2年	1人	×	2,700	円	×	5	月	=	13,500	円																																						
3年	1人	×	2,700	円	×	5	月	=	13,500	円																																						
4年	1人	×	2,700	円	×	5	月	=	13,500	円																																						
				B. 収納権利増減額= 0 円																																												
13,500	33.33	0	27,000	C. 収納必要額 A+B= 40,500 円																																												
		27,000	0																																													
13,500	33.33	27,000	0																																													
				A. 期首収納権利発生額= 32,400 円																																												
				<table style="border: none;"> <tr> <td style="border: none;">1年</td> <td style="border: none;">0人</td> <td style="border: none;">×</td> <td style="border: none;">2,700</td> <td style="border: none;">円</td> <td style="border: none;">×</td> <td style="border: none;">4</td> <td style="border: none;">月</td> <td style="border: none;">=</td> <td style="border: none;">0</td> <td style="border: none;">円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">2年</td> <td style="border: none;">1人</td> <td style="border: none;">×</td> <td style="border: none;">2,700</td> <td style="border: none;">円</td> <td style="border: none;">×</td> <td style="border: none;">4</td> <td style="border: none;">月</td> <td style="border: none;">=</td> <td style="border: none;">10,800</td> <td style="border: none;">円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">3年</td> <td style="border: none;">1人</td> <td style="border: none;">×</td> <td style="border: none;">2,700</td> <td style="border: none;">円</td> <td style="border: none;">×</td> <td style="border: none;">4</td> <td style="border: none;">月</td> <td style="border: none;">=</td> <td style="border: none;">10,800</td> <td style="border: none;">円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">4年</td> <td style="border: none;">1人</td> <td style="border: none;">×</td> <td style="border: none;">2,700</td> <td style="border: none;">円</td> <td style="border: none;">×</td> <td style="border: none;">4</td> <td style="border: none;">月</td> <td style="border: none;">=</td> <td style="border: none;">10,800</td> <td style="border: none;">円</td> </tr> </table>	1年	0人	×	2,700	円	×	4	月	=	0	円	2年	1人	×	2,700	円	×	4	月	=	10,800	円	3年	1人	×	2,700	円	×	4	月	=	10,800	円	4年	1人	×	2,700	円	×	4	月	=	10,800	円
1年	0人	×	2,700	円	×	4	月	=	0	円																																						
2年	1人	×	2,700	円	×	4	月	=	10,800	円																																						
3年	1人	×	2,700	円	×	4	月	=	10,800	円																																						
4年	1人	×	2,700	円	×	4	月	=	10,800	円																																						
21,600	66.66	0	10,800	B. 収納権利増減額= 0 円																																												
		10,800	0																																													
				C. 収納必要額 A+B= 32,400 円																																												
21,600	66.66	10,800	0																																													
43,200	44.44	54,000	0	D. 収納必要額 = 97,200 円																																												

(全日制)

授 業 料 収 納 状 況 調

期 別	月 別	調 定 の 状 況								収 納 の 状 況			
		1 年		2 年		3 年		計		納 期 内 収 納 額		納 期 後 収 納 額	収 入 未 済 額
		人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	円	%		
一 期	4												
	5												
	6			1	9,900			1	9,900	9,900	100.00	0	0
	7	104	3,088,800	115	3,415,500	103	3,059,100	322	9,563,400	9,414,900	98.44	0	148,500
	8											148,500	0
	計	104	3,088,800	116	3,425,400	103	3,059,100	323	9,573,300	9,424,800	98.44	148,500	0
二 期	7												
	8												
	9												
	10	110 1	5,445,000 29,700	120	5,940,000	109	5,395,500	340	16,810,200	16,364,700	97.34	0	445,500
	11			▲ 1	▲ 19,800			▲ 1	▲ 19,800	▲ 19,800		445,500	0
	計	111	5,474,700	119	5,920,200	109	5,395,500	339	16,790,400	16,344,900	97.34	445,500	0
三 期	12												
	1	110	4,356,000	118	4,672,800	109	4,316,400	337	13,345,200	13,226,400	99.10	0	118,800
	2											118,800	0
	3												
	計	110	4,356,000	118	4,672,800	109	4,316,400	337	13,345,200	13,226,400	99.10	118,800	0
合計	325	12,919,500	353	14,018,400	321	12,771,000	999	39,708,900	38,996,100	98.20	712,800	0	

(令和6年度)

(令和7年2月28日現在)

異 動 者 等 の 状 況

A. 期首収納権利発生額＝		9,563,400 円							
[1年	104 人	×	9,900 円	×	3 月	=	3,088,800 円]
	2年	115 人	×	9,900 円	×	3 月	=	3,415,500 円	
	3年	103 人	×	9,900 円	×	3 月	=	3,059,100 円	
B. 収納権利増減額＝		9,900 円							
＜内訳＞									
6月26日 2年 転入		1	1人	×	9,900円	×	1月	=	9,900円
C. 収納必要額 A + B =		9,573,300 円							
A. 期首収納権利発生額＝		16,830,000 円							
[1年	111 人	×	9,900 円	×	5 月	=	5,494,500 円]
	2年	120 人	×	9,900 円	×	5 月	=	5,940,000 円	
	3年	109 人	×	9,900 円	×	5 月	=	5,395,500 円	
B. 収納権利増減額＝		▲ 39,600 円							
＜内訳＞									
9月30日 1年 転学		▲ 1	1人	×	9,900円	×	2月	=	▲19,800円
10月1日 2年 支援金認定		▲ 1	1人	×	9,900円	×	2月	=	▲19,800円
(11月13日認定)									
C. 収納必要額 A + B =		16,790,400 円							
A. 期首収納権利発生額＝		13,345,200 円							
[1年	110 人	×	9,900 円	×	4 月	=	4,356,000 円]
	2年	118 人	×	9,900 円	×	4 月	=	4,672,800 円	
	3年	109 人	×	9,900 円	×	4 月	=	4,316,400 円	
B. 収納権利増減額＝		0 円							
＜内訳＞									
C. 収納必要額 A + B =		13,345,200 円							
D. 収納必要額 =		39,708,900 円							

(定時制)

授 業 料 収 納 状 況 調

期 別	月	調 定 の 状 況									
		1 年		2 年		3 年		4 年		計	
		人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額
		人	円	人	円	人	円	人	円	人	円
一 期	4										
	5										
	6										
	7	1	8,100	0	0	1	8,100	1	8,100	3	24,300
	8										
	計		1	8,100	0	0	1	8,100	1	8,100	3
二 期	7										
	8										
	9										
	10	0	0	0	0	1	13,500	1	13,500	2	27,000
	11										
	計		0	0	0	0	1	13,500	1	13,500	2
三 期	12										
	1	0	0	0	0	1	10,800	1	10,800	2	21,600
	2										
	3										
	計		0	0	0	0	1	10,800	1	10,800	2
合計		1	8,100	0	0	3	32,400	3	32,400	7	72,900

(令和6年度) (令和7年2月28日現在)

収 納 の 状 況				異 動 者 等 の 状 況
納 期 内 取 納 額	納 期 後 取 納 額	取 入 未 済 額		
円	%	円	円	
				A. 期首収納権利発生額= 24,300 円
				[1年 1人 × 2,700 円 × 3月 = 8,100 円
				[2年 0人 × 2,700 円 × 3月 = 0 円
				[3年 1人 × 2,700 円 × 3月 = 8,100 円
				[4年 1人 × 2,700 円 × 3月 = 8,100 円]
				B. 収納権利増減額= 0 円
16,200	66.66	0	8,100	C. 収納必要額 A+B= 24,300 円
		8,100	0	
16,200	66.66	8,100	0	
				A. 期首収納権利発生額= 27,000 円
				[1年 0人 × 2,700 円 × 5月 = 0 円
				[2年 0人 × 2,700 円 × 5月 = 0 円
				[3年 1人 × 2,700 円 × 5月 = 13,500 円
				[4年 1人 × 2,700 円 × 5月 = 13,500 円]
				B. 収納権利増減額= 0 円
27,000	100.00	0	0	C. 収納必要額 A+B= 27,000 円
27,000	100.00	0	0	
				A. 期首収納権利発生額= 21,600 円
				[1年 0人 × 2,700 円 × 4月 = 0 円
				[2年 0人 × 2,700 円 × 4月 = 0 円
				[3年 1人 × 2,700 円 × 4月 = 10,800 円
				[4年 1人 × 2,700 円 × 4月 = 10,800 円]
			0	B. 収納権利増減額= 0 円
21,600	100.00	0	0	C. 収納必要額 A+B= 21,600 円
21,600	100.00	0	0	
64,800	88.88	8,100	0	D. 収納必要額 = 72,900 円

預 金 調

(令和7年2月28日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口 座 名 義 人	残高 (円)	摘 要
スルガ銀行富士支店	無利息型 普通預金	253509	富士高等学校資金前渡者 小林 浩明	0	給与・賞与
スルガ銀行富士支店	無利息型 普通預金	406063	(自振口) 富士高等学校資金前渡者 富士高等学校 校長 小林 浩明	0	電気料・水道料等口座振替
残 高 合 計				0	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					4年度	5年度	左のうち、4年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	/	2,559,370	/
	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費		2,300,034	
	一般	教育費	学校教育費	健康体育費		5,132,597	
計					9,258,905	9,992,001	0
(14) 工事請負費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	/	1,430,000	/
計					4,510,000	1,430,000	0
(16) 公有財産 購入費					/		/
計					0	0	0
(17) 備品 購入費					/		/
計					1,611,060	0	0
(18) 負担金、 補助及び 交付金	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	/	63,628,905	/
	一般	教育費	学校教育費	健康体育費		15,750	
計					65,301,272	63,644,655	
(21) 補償・補 填及び賠 償金					/		/
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年2月28日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)	
					6年度	左のうち、5年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	1,873,960	0
	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	2,850,672	0
	一般	教育費	学校教育費	健康体育費	6,211,436	0
計					10,936,068	0
(14) 工事 請負費						0
						0
						0
計					0	0
(16) 公有財産 購入費						
計					0	0
(17) 備品 購入費	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	179,300	0
計					179,300	0
(18) 負担金、 補助及び 交付金	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	61,769,930	0
	一般	教育費	学校教育費	高校教育費	23,980	0
	一般	教育費	学校教育費	健康体育費	7,178	0
計					61,801,088	0
(21) 補償、補 填及び賠 償金						
計					0	0

委 託 料 に

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	エレベータ保守点検業務	三菱電機ビルソリューションズ株式会社	968,012	858,000	0	858,000	随契	5.4.1 ～ 6.3.31	5.5.31 5.6.30 5.7.31 5.8.31 5.9.29 5.10.31 5.11.30 5.12.27 6.1.31 6.2.29 6.3.29 6.4.26	71,500 71,500 71,500 71,500 71,500 71,500 71,500 71,500 71,500 71,500 71,500 71,500 71,500 (858,000)	昇降機保守点検	随契1号(少額)
2	建築物環境衛生管理業務	㈱丸高フロンティア	999,900	902,000	0	902,000	随契	5.4.1 ～ 6.3.31	5.7.31 5.10.31 6.1.31 6.4.26	160,600 423,500 160,600 157,300 (902,000)	特定建築物の環境衛生管理	随契1号(少額)
3	富士高等学校外9校警備業務	セコム㈱	26,528,832	5,808,000	839,190	6,647,190	一般	1.10.1 ～ 6.9.30	5.5.31 5.6.30 5.7.31 5.8.31 5.9.29 5.10.31 5.11.30 5.12.27 6.1.31 6.2.29 6.3.29 6.4.26	(4,222,284) 134,717 134,717 134,717 134,717 134,717 134,717 134,717 134,717 134,717 134,717 134,717 134,717 (1,616,604)	校舎機械警備	H31 長期 吉原 吉原工 富士東 富士宮東 富士宮北 富士宮西 富士岳館 富士特支 富士宮分校
4	給食業務	㈱ホーユー	15,668,060	15,642,000	93,220	15,735,220	不随	2.8.1 ～ 5.7.31	5.5.31 5.6.30 5.7.31 5.8.31	(13,984,380) 434,500 434,500 434,500 434,500 (1,738,000)	定時制給食調理	R2 長期 随契 8号 不調随契
5	夜間定時制高等学校校舎等管理業務	株式会社KSP 静岡支社	945,450	945,450	0	945,450	随契	5.4.6 ～ 6.3.31	5.5.31 5.6.30 5.7.31 5.8.31 5.10.31 5.11.30 5.12.27 6.1.31 6.2.29 6.3.29 6.4.26	84,150 99,000 103,950 74,250 99,000 99,000 99,000 79,200 74,250 94,050 39,600 (945,450)	定時制校舎等管理	随契 1号 (少額)
6	給食業務	㈱ホーユー	16,080,551	15,840,000	▲ 15,697,634	142,366	不随	5.8.1 ～ 8.7.31	6.3.27	142,366 (142,366)	定時制給食調理	R2 長期 随契 8号 不調随契
7	給食業務	㈱クリエイティブ	3,179,081	3,179,081	0	3,179,081	随契	5.10.2 ～ 6.3.23	5.11.30 5.12.27 6.1.30 6.2.29 6.3.29 6.4.25	529,846 529,847 529,847 529,847 529,847 529,847 (3,179,081)	定時制給食調理	随契 5号 (緊急)

関 する 調

(令和5年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
8	汚泥収集・運搬業務	三友水処理(株)	77,000	77,000	0	77,000	随契	5.9.1 ～ 6.3.31	5.10.19 6.2.29	円 26,400 50,600 (77,000)	調理室等汚泥収集・運搬	随契1号(少額)
9	汚泥処分業務	クリーンサービス(株)	33,000	33,000	0	33,000	随契	5.9.1 ～ 6.3.31	5.10.19 6.2.29	8,250 14,300 (22,550)	調理室等泥処分	随契1号(少額)
10	産業廃棄物収集・運搬処分業務	㈱クリーンコントロールサービス	85,800	85,800	0	85,800	随契	5.5.12 ～ 5.10.2	5.10.17	円 85,800	不燃物収集・運搬、処分	随契1号(少額)
11	産業廃棄物収集・運搬処分業務	㈱クリーンコントロールサービス	85,800	85,800	0	85,800	随契	5.9.19 ～ 6.1.10	6.2.9	85,800	不燃物収集・運搬、処分	随契1号(少額)
12	産業廃棄物収集・運搬処分業務	㈱クリーンコントロールサービス	85,800	85,800	0	85,800	随契	5.12.22 ～ 6.3.28	6.4.17	85,800	不燃物収集・運搬、処分	随契1号(少額)
13	産業廃棄物収集・運搬処分業務	ジャパンウェイスト(株)	99,550	99,550	0	99,550	随契	6.1.29 ～ 6.3.28	6.3.29	99,550	廃薬収集運搬、処分	随契1号(少額)
14	富士市松本字砂田39番1地積更正登記業務	㈱協和工務店	158,400	154,000	0	154,000	随契	6.2.22 ～ 6.3.27	6.4.10	154,000	地積更正登記	随契1号(少額)
事務関係 計		14件	64,995,236	43,795,481	▲ 14,765,224	29,030,257				9,992,001		
参考1	自家用電気工作物保安管理業務	(一財)関東電気保安協会		1,928,740		1,928,740		5.4.1 ～ 6.3.31			自家用電気工作物保安業務	吉原工業高校
2	消防用設備等保守点検業務	サンコー防災(株)		12,320,000		12,320,000		5.4.1 ～ 6.3.31			消防設備等点検業務	富士宮東高校
3	可燃物収集運搬処分業務	(有)東亜美装		運搬料1回 21,258 処分料1kg 15		運搬料1回 21,258 処分料1kg 15		5.4.6 ～ 6.3.29			可燃物収集運搬処分業務	吉原高校
4	プール浄化装置保守点検業務	(有)石川メンテナンス		190,080		190,080		5.4.13 ～ 6.10.31			循環浄化装置保守点検	富士東高校
5	建築基準法第12条に基づく定期点検業務	㈱平柳建築設計事務所		3,850,000		3,850,000		5.9.14 ～ 6.2.29			建築基準法第12条の基づく定期点検業務	吉原高校

委 託 料 に

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	エレベータ保守点検業務	三菱電機ビルソリューションズ株式会社	984,473	891,000	0	891,000	随契	6.4.1 ～ 7.3.31	6.5.31 6.6.28 6.7.31 6.8.30 6.9.30 6.10.31 6.11.29 6.12.26 7.1.31 7.2.28 (741,730)	72,325 72,325 76,945 76,945 72,325 76,945 72,325 72,325 76,945 72,325 (741,730)	昇降機保守点検	随契1号(少額)
2	建築物環境衛生管理業務	㈱丸高フロンティア	961,400	937,200	0	937,200	随契	6.4.1 ～ 7.3.31	6.7.31 6.10.31 7.1.31 (778,800)	162,800 453,200 162,800 (778,800)	特定建築物の環境衛生管理	随契1号(少額)
3	富士高等学校外9校警備業務	セコム㈱	26,528,832	5,808,000	839,190	6,647,190	一般	1.10.1 ～ 6.9.30	6.5.31 6.6.28 6.7.31 6.8.30 6.9.30 6.10.31 (808,302)	134,717 134,717 134,717 134,717 134,717 134,717 (808,302)	校舎機械警備	H31 長期 吉原 吉原工 富士東 富士宮東 富士宮北 富士宮西 富岳館 富士特支 富士宮分校
4	富士高等学校外10校警備業務	セコム㈱	17,714,400	17,424,000	0	17,424,000	一般	6.10.1 ～ 11.9.30	6.11.29 6.12.26 7.1.31 7.2.28 (1,161,600)	290,400 290,400 290,400 290,400 (1,161,600)	校舎機械警備	R6 長期 吉原 吉原工 富士東 富士宮東 富士宮北 富士宮西 富岳館 富士特支 富士宮分校 富士東分校
5	給食業務	㈱クリエイティブ	17,299,634	17,292,000	0	17,292,000	一般	6.4.1 ～ 8.7.31	6.5.31 6.6.28 6.7.31 6.8.30 6.9.30 6.10.31 6.11.29 6.12.26 7.1.31 7.2.28 (6,175,686)	617,529 617,573 617,573 617,573 617,573 617,573 617,573 617,573 617,573 617,573 (6,175,686)	定時制給食調理	R6 長期
6	夜間定時制高等学校校舎等管理業務	エスピートム㈱沼津支社	1,364,000	1,364,000	0	1,364,000	一般	6.6.3 ～ 7.3.31	6.7.31 6.8.30 6.10.31 6.11.29 6.12.26 7.1.31 7.2.28 (1,144,000)	176,000 158,400 167,200 184,800 176,000 140,800 140,800 (1,144,000)	定時制校舎等管理	

関 する 調

(令和6年度)
(令和7年2月28日現在)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
7	汚泥収集・運搬業務	三友水処理(株)	80,300	80,300	0	80,300	随契	6.9.9 ～ 7.3.31	6.10.17	円 27,500 (27,500)	調理室等汚泥収集・運搬	随契1号(少額)
8	汚泥処分業務	クリーンサービス(株)	33,000	33,000	0	33,000	随契	6.9.9 ～ 7.3.31	6.10.21	8,250 (8,250)	調理室等泥処分	随契1号(少額)
9	産業廃棄物収集・運搬処分業務	(株)クリーンコントロールサービス	90,200	90,200	0	90,200	随契	6.6.27 ～ 6.12.25	7.2.14	円 90,200	不燃物収集・運搬、処分	随契1号(少額)
事務関係計		9件	65,056,239	43,919,700	839,190	44,758,890				10,936,068		
参考1	自家用電気工作物保安管理業務	加藤電気管理事務所		2,572,680		2,572,680		6.4.1 ～ 7.3.31			自家用電気工作物保安業務	吉原工業高校
2	消防用設備等保守点検業務	サンコー防災(株)		13,376,000	4,400	13,380,400		6.4.1 ～ 7.3.31			消防設備等点検業務	富士宮東高校
3	可燃物収集運搬処分業務	(有)東亜美装		運搬料1回 21,258 処分料1kg 15		運搬料1回 21,258 処分料1kg 15		6.4.5 ～ 7.3.28			可燃物収集運搬処分業務	吉原高校
4	プール浄化装置保守点検業務	(有)石川メンテナンス		207,900		207,900		6.4.12 ～ 6.10.31			循環浄化装置保守点検	富士東高校
5	建築基準法第12条に基づく定期点検業務	(株)平柳建築設計事務所		3,263,700		3,263,700		6.8.15 ～ 7.2.28			建築基準法第12条の基づく定期点検業務	富士東高校

補助金支出調

(令和5年度)

整理番号	対象事業名	交付先	補助の根拠	事業の実績	総事業費	補助金額	補助率	交付決定		交付		事業完了		摘要
								年月日	金額	年月日	金額	年月日	確認年月日	
1	高等学校定時制課程及び通信制課程修学補助金	定時制生徒1名	高等学校定時制の課程及び通信制の課程修学補助金交付要綱	高等学校定時制課程及び通信制課程教科書等購入費・夜食費	円	円		6.3.29	円 23,355	6.4.17	円 23,355	6.3.31	6.3.31	
計						23,355			23,355		23,355			

(令和6年度)

(令和7年2月28日現在)

整理番号	対象事業名	交付先	補助の根拠	事業の実績	総事業費	補助金額	補助率	交付決定		交付		事業完了		摘要
								年月日	金額	年月日	金額	年月日	確認年月日	
1	高等学校定時制課程及び通信制課程修学補助金	定時制生徒1名	高等学校定時制の課程及び通信制の課程修学補助金交付要綱	高等学校定時制課程及び通信制課程教科書等購入費・夜食費	円	円		6.10.15	円 8,708	6.10.25	円 8,708			
計						8,708			8,708		8,708			

負担金支出調

(令和5年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国定時制通信制高等学校長会第70回総会・研究協議会参加費	全国定時制通信制高等学校長会	開催要項による	学校の管理運営に関する事	1,000円	5.5.8
2	全国高等学校長協会第75回総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催要項による	学校の管理運営に関する事	2,000円	5.5.9
3	東海四県高等学校長連絡協議会総会・研究協議会参加費	静岡県高等学校長協会	開催要項による	学校の管理運営に関する事	2,000円	5.7.12
4	第74回全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会教育研究協議会山梨大会参加費	全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会	開催要項による	学校の管理運営に関する事	5,000円	5.7.14
5	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分521名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	15,473,700円	5.7.31
6	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第1期分80名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	648,000円	5.7.31
7	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第1期分1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	2,700円	5.7.31
8	夏期秋期駿台教育探究セミナー受講料	駿台教育センター株式会社	開催要項による	学校教育に関する事	72,000円	5.8.3
9	甲種防火管理新規講習受講料	一般財団法人日本防火・防災協会	開催要項による	学校の管理運営に関する事	8,000円	5.8.14
10	全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会第56回東海支部総会・研究協議会参加費	全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会東海支部	開催要項による	学校の管理運営に関する事	2,000円	5.8.31
11	全国普通科高等学校長会第73回総会・研究協議会参加費	全国普通科高等学校長会	開催要項による	学校の管理運営に関する事	2,300円	5.8.31
12	第51回全国理数科教育研究大会参加費	全国理数科高等学校長会	開催要項による	学校の管理運営に関する事	5,000円	5.9.8
13	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分513名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	25,334,100円	5.10.31
14	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第2期分80名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	1,071,900円	5.10.31
15	高等学校学び直し支援金	定時制高等学校授業料(第2期分1名分)	高等学校等修学支援事業費補助金交付要綱	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	8,100円	5.10.31
16	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第2期分1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	学籍異動のため5年11月分を戻入振替	△ 2,700	5.11.10
17	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期分510名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	20,166,300円	6.1.31
18	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第3期分77名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	831,600円	6.1.31
19	高等学校学び直し支援金	定時制高等学校授業料(第3期分1名分)	高等学校等修学支援事業費補助金交付要綱	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	10,800円	6.1.31
20	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期分1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	学籍異動のため6年2～3月分を戻入振替	△ 19,800	6.2.13
21	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第3期分1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	学籍異動のため6年3月分を戻入振替	△ 2,700	6.3.8
	計	21件	/	/	63,621,300円	/

負担金支出調

(令和6年度)
(令和7年2月28日)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国定時制通信制高等学校長会第71回総会・研究協議会参加費	全国定時制通信制高等学校長会	開催要項による	学校の管理運営に関すること	1,000円	6.5.8
2	全国高等学校長協会第76回総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催要項による	学校の管理運営に関すること	4,000円	6.5.14
3	東海四県高等学校長連絡協議会総会・研究協議会参加費	静岡県高等学校長協会	開催要項による	学校の管理運営に関すること	2,000円	6.7.8
4	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	静岡県高等学校長協会生徒指導専門委員会	開催要項による	学校の管理運営に関すること	2,000円	6.7.8
5	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分511名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	15,176,700円	6.7.31
6	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第1期分86名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	691,200円	6.7.31
7	高等学校学び直し支援金	定時制高等学校授業料(第1期分1名分)	高等学校等修学支援事業費補助金交付要綱	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	5,400円	6.7.31
8	第52回全国理数科教育研究大会参加費	全国理数科高等学校長会	開催要項による	学校の管理運営に関すること	5,000円	6.9.4
9	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分494名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	24,423,300円	6.10.31
10	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第2期分85名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	1,134,000円	6.10.31
11	高等学校学び直し支援金	定時制高等学校授業料(第2期分2名分)	高等学校等修学支援事業費補助金交付要綱	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	18,900円	6.10.31
12	2024年度冬期駿台教育探究セミナー参加費	駿台教育センター	開催要項による	学校の管理運営に関すること	23,980円	6.11.8
13	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる(10月～認定)	19,800円	6.11.20
14	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第2期分1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	学籍異動のため6年11月分を戻入振替	△ 2,700	6.11.20
15	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期分492名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	19,423,800円	7.1.31
16	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第3期分81名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	850,500円	7.1.31
17	高等学校学び直し支援金	定時制高等学校授業料(第3期分2名分)	高等学校等修学支援事業費補助金交付要綱	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	21,600円	7.1.31
18	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第3期分1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	学籍異動のため7年3月分を戻入振替	△ 2,700	7.2.10
19	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第3期分1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	学籍異動のため7年3月分を戻入振替	△ 2,700	7.2.25
20	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第3期分1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	学籍異動のため7年3月分を戻入振替	△ 2,700	7.2.27
計		20件	/	/	61,792,380円	/

建 築 工

整理番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当初額	変更増減額
1	教育管理費	令和5年度 静岡県立富士高等学校 管理棟職員室空調設備 更新工事	富士市松本地内	円 1,606,000	円 1,430,000	円 0
		合 計	1 件	1,606,000	1,430,000	0

(参考)

整理番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当初額	変更増減額
1	教育管理費	令和5年度[第35-Z2433-01号]富士高等学校教室棟4階空調設備更新工事	富士市松本地内	円 37,609,000	円 35,750,000	円 -88,000
2	教育管理費	令和5年度[第35-Z2435-01号]富士高等学校体育館照明改修工事	富士市松本地内	12,331,000	11,880,000	286,000
		合 計	2件	49,940,000	47,630,000	198,000

事 調

(令和5年度)

額	契約 締結 方法	受注者	着 手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工事概要	公有 財産 台帳	摘 要
計							
円 1,430,000	随契	協栄空調(株)	6.1.26 6.3.27	円 1,430,000	管理棟2階職員室空調設備 更新工事	済	令達日5.12.27 支払日6.4.12 随契1号 (少額)
1,430,000				1,430,000			

額	契約 締結 方法	受注者	着 手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工事概要	公有 財産 台帳	摘 要
計							
円 35,662,000	制限 付き 一般 競争 入札	(株)望月工業 所	5.10.3 6.6.14	円 35,662,000	教室棟4階の空調設備更 新 (ビルマルエアコン 室外機2台、室内機18 台)	済	設備課 (執行 課)
12,166,000	一般 競争	スズキ電工	5.11.16 6.3.8	12,166,000	体育館照明改修工事	—	設備課 (執行 課)
47,828,000				47,828,000			

建 築 工

整理 番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当初額	変更増減額
1	教育管理費	令和6年度 静岡県立富士高等学校 体育館ハンガードア レール更新工事	富士市松本地内	円 4,983,000	円 4,895,000	円 66,000
		合 計	1 件	4,983,000	4,895,000	66,000

(参考)

整理 番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当初額	変更増減額
1	教育管理費	令和6年度[第36-Z2404-01号]富士高等学校普通 教室棟2、3、5階空調 設備更新工事	富士市松本地内	円 76,758,000	円 62,700,000	円 0
		合 計	1 件	76,758,000	62,700,000	0

事 調

(令和6年度)

令和7年2月28日現在

額	契約 締結 方法	受注者	着 手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工事概要	公有 財産 台帳	摘 要
計							
円 4,961,000	指名 競争 入札	(株)石井組	6.10.1	円	体育館南側ハンガードア レール更新工事	—	令達日 6.8.20
			7.2.28				支払日(予定) 未定
4,961,000				0			

額	契約 締結 方法	受注者	着 手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工事概要	公有 財産 台帳	摘 要
計							
円 62,700,000	総合 簡 3	協栄空調(株)	6.7.24	円 62,700,000	普通教室棟2、3、5階の 空調設備更新(ビルマルエ アコン 室外機5台、室内 機38台)	済	設備課(執行 課)
			6.12.6				
62,700,000				62,700,000			

公有財産調

(令和5年度)

区分	令和5年3月31日		増	減	令和6年3月31日		摘要	
	現	在			現	在		
	数量又は面積	台帳格	数量又は面積	台帳格	数量又は面積	台帳格		
行政財産		千円 5,478,126		千円		千円		千円 5,427,144
土地	m ² 42,496.22	4,480,316					m ² 42,496.22	4,480,316
樹木	本 135	2,951					本 135	2,951
建物	m ² 6,152.94 15,348.96	930,326			47,010		m ² 6,152.94 15,348.96	883,316
工作物	個 87	64,533			3,972		個 87	60,561
普通財産		49,504						49,504
土地	m ² 833.00	49,504					m ² 833.00	49,504
建物	m ² 0.00 0.00	0					m ² 0.00 0.00	0
工作物	個 2	0					個 2	0
公有財産に 準ずるもの		234						234
電話加入権	件 6	234					件 6	234

公 有 財 産 調

(令和6年度)

区 分	令和6年3月31日 現 在		増		減		令和7年2月28日 現 在		摘要
	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	
行政財産	/	千円 5,427,144	/	千円	/	千円	/	千円 5,523,194	
土 地	㎡ 42,496.22	4,480,316					㎡ 42,496.22	4,480,316	
樹 木	本 135	2,951					本 135	2,951	
建 物	㎡ 6,152.94 15,348.96	883,316					㎡ 6,152.94 15,348.96	883,316	
工作物	個 87	60,561	58	96,050			個 145	156,611	
普通財産	/	49,504	/		/		/	49,504	
土 地	㎡ 833.00	49,504					㎡ 833.00	49,504	
建 物	㎡ 0.00 0.00	0					㎡ 0.00 0.00	0	
工作物	個 2	0					個 2	0	
公有財産に 準ずるもの	/	234	/		/		/	234	
電話加入権	件 6	234					件 6	234	

借地借家等調

(令和7年2月28日現在)

整理 番号	区 分	種 別	所 在 地	地 目		数量又 は面積	借 料		契約期間	所 有 者 又 は 契 約 者 氏 名	用 途
				台帳	現況		単価	年 額			
1	建 物	雑屋建	富士市松本17	コンクリート ブロック 造		m ² 42.54		無 償	R6. 4. 1 ～ R7. 3. 31	富士高等学校 P T A	野球部 ダッグアウト
2	"	"	"	鉄骨造 折板葺		m ² 29.16		"	R6. 4. 1 ～ R7. 3. 31	富士高等学校 後援会	体育用具 収納庫
	小 計					m ² 71.70		円 0			
3	工作物	雑工作物	"	鉄骨造		個 1		"	R6. 4. 1 ～ R7. 3. 31	富士高等学校 後援会	スコアボード
4	"	"	"	鉄骨造		個 1		"	R6. 4. 1 ～ R7. 3. 31	富士高等学校 後援会	シュート板
5	"	冷暖房装 置	"			個 1		3,181,024	R6. 7. 1 ～ R19. 6. 30	NTT・TC リース株式会社 静岡支店	特別教室空調
	小 計					個 3		円 3,181,024			
	計							円 3,181,024			

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和6年度)

(令和7年2月28日現在)

区分	事業名 又は 契約名	内容	契約額											
				31年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
長期継続契約	静岡県立富士高等学校外9校警備業務委託	富士高校外9校の機械警備業務(契約日)令和元年8月27日	6,647,190	円 580,800	円 1,161,600	円 1,161,600	円 1,318,284	円 1,616,604	円 808,302	円 -	円 -	円 -	円 -	円 -
	静岡県立富士高等学校外10校警備業務委託	富士高校外10校の機械警備業務(契約日)令和6年9月11日	17,424,000	-	-	-	-	-	1,742,400	3,484,800	3,484,800	3,484,800	3,484,800	1,742,400
	静岡県立富士高等学校給食業務委託	夜間定時制学校給食調理・配膳等の業務(契約日)令和6年4月1日	17,292,000	-	-	-	-	-	7,410,832	7,410,876	2,470,292	-	-	-
	電子複写機賃貸借契約	静岡県立富士高等学校外4校電子複写機賃貸借及び使用(契約日)令和5年4月1日	4,644,090	-	-	-	-	928,818	928,818	928,818	928,818	928,818	-	-
	高速カラー印刷機賃貸借契約	静岡県立富士高等学校高速カラー印刷機賃貸借及び使用(契約日)令和4年12月13日	2,970,000	-	-	-	99,000	594,000	594,000	594,000	594,000	495,000	-	-

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年2月28日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の住所氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	行政財産土地	学校敷地	富士市松本17	学校敷地	学校敷地	本柱11本 支線6条 支線柱1本	1,500	27,000	3. 4. 1 8. 3. 31	富士市吉原1-1-21 東京電力パワーグリッド (株)富士支社長	電柱敷地
2	"	"	"	"	"	42.54㎡		免除	2. 4. 1 7. 3. 31	富士市松本17 富士高等学校PTA 会長	ダックアウト敷地
3	"	"	"	"	"	本柱5本 支線3条	1,500	12,000	4. 4. 1 7. 3. 31	静岡市葵区城東町5-1 西日本電信電話(株) 静岡支店長	電柱敷地
4	"	"	"	"	"	7.58㎡		15,440	6. 4. 1 7. 3. 31	富士市厚原771-1 富士急静岡バス(株)	バス待合用上 屋敷地
5	"	"	"	"	"	1.00㎡		免除	4. 4. 1 9. 3. 31	富士市永田町1-100 富士市長	避難場所標 示板敷地
6	"	"	"	"	"	29.16㎡ 24.30㎡ 9.64㎡		免除	2. 4. 1 7. 3. 31	富士市松本17 富士高等学校後援会 代表理事	体育用具収納庫 シュート板敷地 スコアボード敷地
7	"	"	"	"	"	本柱1本	1,500	1,500	3. 4. 1 8. 3. 31	沼津市江原町13-24 (株)TOKAIケーブル ネットワーク	CATV用給電鋼 管建柱敷地
8	"	"	"	"	"	2.60㎡		免除	6. 4. 1 7. 3. 31	富士市松本17 富士高等学校富友会 会長	80周年記念石 碑敷地
9	"	"	"	"	"	1.52㎡		免除	6. 4. 1 7. 3. 31	富士市松本17 富士高等学校富友会 会長	戸塚洋二氏顕 彰碑敷地
10	"	"	"	"	"	14.80㎡		免除	2. 4. 1 7. 3. 31	富士市永田町1-100 富士市長	備蓄用防災倉 庫敷地
11	"	"	"	"	"	2.88㎡ 15.42m		免除	2. 4. 1 7. 3. 31	富士市松本17 富士高等学校後援会 代表理事	管理棟空調設 備
12	"	"	"	"	"	6.51㎡		免除	2. 4. 1 7. 3. 31	富士市本市場新田 171-8 富士高校避難所運営 本部本部長	備蓄用防災倉 庫敷地
13	"	"	"	"	"	6.48㎡		免除	2. 4. 1 7. 3. 31	富士市松本17 富士高等学校後援会 代表理事	合宿所空調設 備
14	"	"	"	"	"	4.00㎡		1,176,000	6. 4. 1 9. 3. 31	静岡市清水区長崎 86 コ・コアホトラス・シ ャパン(株)バンデ ィング中部日本 地区統括部	自動販売機敷 地
15	"	"	"	"	"	2.00㎡		100,000	6. 4. 1 9. 3. 31	静岡市葵区瀬名川 3-3-43 中央静岡ヤクルト販 売(株)	自動販売機敷 地

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年2月28日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の住所氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
16	行政財産建物	事務所建	富士市松本17	鉄筋コンクリート	4階建	0.09㎡		免除	6.4.1 7.3.31	名古屋市中区三の丸2-5-1 国土地理院中部地方 測量部長	四等三角点
17	"	"	"	鉄筋コンクリート	4階建	1.00㎡		免除	4.4.1 9.3.31	富士市永田町1-100 富士市長	防災無線及び アンテナ、同 報無線
18	"	"	"	鉄筋コンクリート	2階建	1.00㎡		免除	4.4.1 7.3.31	富士市松本17 富士高等学校後援会 代表理事	公衆電話
19	"	"	"	鉄筋コンクリート	4階建	2.20㎡		免除	2.4.1 7.3.31	富士市松本17 富士高等学校後援会 代表理事	管理棟空調設 備
20	"	"	"	鉄筋コンクリート	2階建	11.51㎡		免除	2.4.1 7.3.31	富士市松本17 富士高等学校後援会 代表理事	合宿所空調設 備
21	"	"	"	鉄筋コンクリート	4階建	3.30㎡		免除	6.4.1 9.3.31	富士市松本17 富士高等学校PTA 会長	団体職員執務 場所
22	"	"	"	工作物		2.02㎡		免除	6.4.26 6.5.28	富士市永田町1-100 富士市選挙管理委員 会委員長	静岡県知事選 挙の公営ポス ター掲示場
23	"	"	"	工作物		2.02㎡		免除	6.10.7 6.10.29	富士市永田町1-100 富士市選挙管理委員 会委員長	衆議院議員総 選挙の公営ポ スター掲示場
24	"	"	"	鉄筋コンクリート 4階建 鉄骨鉄筋 コンクリート 5階建 鉄筋コンクリート 2階建 鉄筋コンクリート 1階建		3,569.01㎡		免除	7.1.17 7.1.19	静岡市駿河区大谷 836 静岡大学長	大学入学共通 テスト試験会 場
	合計								1,331,940		

普通財産・借受財産等貸付調

(令和7年2月28日現在)

整理 番号	区分	種 別	所 在 地	地 目		数量又 は面積	貸付料又は 使 用 料		貸付又は 使用許可 期 間	貸付又は使用 許可を受けた 者の住所氏名	貸 付 ・ 使用許可 目 的
				台帳	現況		単 価	年 額			
1	普通 財産 土地	住宅敷地	富士市松本39-1	宅地	住宅 敷地	本柱1本 支線2条	1,500	4,500	6. 4. 1 7. 3. 31	富士市吉原1-1-21 東京電力パワーグリッド(株)富士支社長	電柱敷地
2	〃	〃	〃	〃	〃	本柱1本 支柱1本	1,500	3,000	6. 4. 1 7. 3. 31	静岡市城東町5-1 西日本電信電話(株) 静岡支店長	電柱敷地 電気通信設備 敷地
	合計							7,500			

主要備品調

(令和7年2月28日現在)

整理 番号	区 分		品 名 ・ 規 格	利用状況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	02-03	ビデオ装置 (一式)	視聴覚機器システム (一式) エルモ CP-4500 他	週3日(年間 125日) 授業用	H10.10	8,505,000 円
2	02-01	パーソナルコンピュータ (一式)	パーソナルコンピュータ (一式) 教師機 ESPRIMO D583/K 1台 生徒機 LIFEBOOK A574/K 42台他	毎日 授業用	H28.3	5,076,000
3	10-02	その他の語学用器具	LLシステム ナショナル WE-LL200 他	週3回(年間 125日) 授業用	H10.10	4,957,822
4	02-01	パーソナルコンピュータ (一式)	タブレット端末一式	毎日 授業用	H31.3	3,708,180
5	03-03	プロジェクター	天吊プロジェクター一式	毎日 授業用	H31.3	3,350,592
6	10-05	化学用器具	ドラフトチャンバー YD-1S-1200	毎日 授業用	H22.3	1,547,302
7	02-03	ビデオ装置 (一式)	ビデオ装置 (一式) ビデオプロジェクター一式	毎日 授業用	H20.10	1,412,520
8	01-04	移動書庫	移動ラック コクヨ MF-H762型 6連組	毎日 管理用	H10.11	1,228,500
9	10-12	トレーニング用器具	トレーニング用具 レッグカール&エクステンション セー BA2113	毎日(年間 210日) 部活用	H1.12	1,133,000
10	01-04	書類収納庫	引出書庫ユニット 5460*3000*450 360	毎日 管理用	H7.6	927,000
11	03-03	その他の視覚用再生用機器	電動暗幕装置 暗幕9枚 開閉用モータ4台 他一式	週3日(年間 125日) 授業用	H10.12	886,200
12	10-07	鍵盤楽器	グラントピアノ ヤマハ C-5	週3日 授業用	S55.8	860,000
13	02-02	放送装置	放送装置 松下WP-1200B	週3日 管理用	H15.11	693,000
14	05-02	光試験計測機器	光試験計測機器 UVmini-1240	週3日 授業用	H21.9	662,970
15	01-04	移動書庫	移動書庫 SM-D33F	毎日 管理用	H10.8	651,000
16	10-12	サッカー用器具	サッカー用ゴール Toei B-685	毎日 部活用	H11.3	609,000
17	01-13	食品食器洗浄機	食器消毒保管庫 AIHO ES-503	毎日 給食用	H11.6	599,025
18	02-01	その他の情報処理機器	校内LANサーバー等一式	毎日 管理用	H29.3	529,308
19	01-02	台	実験台 (教師用) ダイイチ CH-115-FK	毎日 授業用	H18.3	489,300
20	01-13	冷蔵(凍)庫	冷凍庫 フクシマEXD-22	毎日 給食用	H17.8	487,200

職 員 調

(全日制)

(令和7年4月1日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤 務 年 数	摘 要
1	校 長	草谷 篤		□□□	□□	□□□
2	副校長	矢端寛之		□□□	□□	□□□
3	教 頭	上野朋子	英語	□□□	□□	□□□
4	事務長	島田純一	事務総括	□□□	□□	
5	教 諭	佐野恵子	理科	□□□	□□	□□□
6	教 諭	諸戸 明	理科	□□□	□□	□□□
7	教 諭	佐藤房生	数学	□□□	□□	□□□
8	教 諭	中山洋一	国語	□□□	□□	□□□
9	教 諭	栗原偉恒	理科	□□□	□□	□□□
10	教 諭	森井尚利	英語	□□□	□□	□□□
11	教 諭	大村文美	国語	□□□	□□	□□□
12	教 諭	石川貴子	外国語	□□□	□□	□□□
13	教 諭	兼高康倫	理科	□□□	□□	□□□
14	教 諭	佐藤久代	地歴公民	□□□	□□	□□□
15	教 諭	白間英文	国語	□□□	□□	□□□
16	教 諭	前林訓子	外国語	□□□	□□	□□□
17	教 諭	新村雅子	外国語	□□□	□□	□□□
18	教 諭	梅原 涉	理科	□□□	□□	□□□
19	教 諭	森下美砂	数学	□□□	□□	□□□
20	教 諭	山形郁代	社会	□□□	□□	□□□
21	教 諭	遠藤貴光	保健体育	□□□	□□	□□□
22	教 諭	市川和久	数学	□□□	□□	□□□
23	教 諭	三澤百合	国語	□□□	□□	□□□
24	教 諭	定塚和彦	理科	□□□	□□	□□□
25	教 諭	佐藤 純	外国語	□□□	□□	□□□
26	教 諭	白井靖典	数学	□□□	□□	□□□
27	教 諭	野村裕子	外国語	□□□	□□	□□□
28	教 諭	近藤 悟	保健体育	□□□	□□	□□□
29	教 諭	植野直美	外国語	□□□	□□	□□□
30	教 諭	井芹憂美子	保健体育	□□□	□□	□□□
31	教 諭	稲木恵介	保健体育	□□□	□□	□□□
32	教 諭	佐藤 寛	数学	□□□	□□	□□□
33	教 諭	日原紀樹	国語	□□□	□□	□□□
34	教 諭	木内 亮	理科	□□□	□□	□□□
35	教 諭	青木俊太郎	地歴公民	□□□	□□	□□□
36	教 諭	小川修平	保健体育	□□□	□□	□□□
37	教 諭	近藤 光	地歴公民	□□□	□□	□□□
38	教 諭	芹澤絵美	国語	□□□	□□	□□□
39	教 諭	大平和成	数学	□□□	□□	□□□
40	教 諭	塩見尚路	情報	□□□	□□	□□□

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
41	教諭	中村由唯	数学	□□□	□□	□□□
42	教諭	内野紋加	地歴公民	□□□	□□	□□□
43	教諭	植松佑斗	地歴公民	□□□	□□	□□□
44	教諭	加藤佑太朗	地歴公民	□□□	□□	□□□
45	教諭	高木章平	理科	□□□	□□	□□□
46	教諭	新村武久	理科	□□□	□□	□□□
47	教諭	相羽美智子	国語	□□□	□□	□□□
48	教諭	鈴木貴人	数学	□□□	□□	□□□
49	養護教諭	片山美由季	養護	□□□	□□	□□□
50	主任実習助手	木本和代	理科	□□□	□□	□□□
51	主任実習助手	川口直子	理科	□□□	□□	□□□
52	主査	磯部 望	管財	□□□	□□	
53	主査	金塚まり絵	会計	□□□	□□	
54	主任	小長谷隆行	人事	□□□	□□	
55	主事	八木菜緒	給与	□□□	□□	
平均年数					□□	

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	外国語指導講師	ミンダミッシェル	外国語	□□□	□□	
2	非常勤講師	野澤哲由	国語	□□□	□□	□□□
3	非常勤講師	池ヶ谷敬子	地歴公民	□□□	□□	□□□
4	非常勤講師	望月晴敏	数学	□□□	□□	□□□
5	非常勤講師	渡邊保和	理科	□□□	□□	□□□
6	非常勤講師	佳元大樹	保健体育	□□□	□□	□□□
7	非常勤講師	多田妃文	家庭	□□□	□□	□□□
8	非常勤講師	倉藤理大	音楽	□□□	□□	□□□
9	非常勤講師	会沢尚代	美術	□□□	□□	□□□
10	非常勤講師	大野紗希子	書道	□□□	□□	□□□
11	非常勤嘱託員	市川博一	用務	□□□	□□	
12	非常勤嘱託員	山田伊織	用務	□□□	□□	
13	非常勤嘱託員	鳥居龍雄	用務	□□□	□□	
14	スクールカウンセラー	望月由妃子		□□□	□□	□□□
15	スクールソーシャルワーカー	後藤久美		□□□	□□	□□□
16	スクールソーシャルワーカー	小岱和代		□□□	□□	
17	校医	岩科 通	内科	□□□		□□□
18	校医	朝岡聖子	眼科	□□□		
19	校医	渡邊靖夫	耳鼻科	□□□		
20	校医	大内仁之	歯科	□□□		
21	薬剤師	曾根啓紀	薬剤師	□□□		

(定時制)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	教頭	望月克洋	総括	□□□	□□	□□□
2	教諭	西山貴宏	外国語	□□□	□□	□□□
3	教諭	岡田圭三	地歴公民	□□□	□□	□□□
4	教諭	岡部俊彦	理科	□□□	□□	□□□
5	教諭	湯田彬仁	数学	□□□	□□	□□□
6	教諭	高島瑠奈	国語	□□□	□□	□□□
7	教諭	谷本晃輝	保健体育	□□□	□□	□□□
8	養護教諭	勝又知世子	養護	□□□	□□	□□□
9	主査	五島孝祐	収入	□□□	□□	□□□
平均年数					□□	

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	教諭	石川棟宇	国語	□□□	□□	□□□
2	非常勤講師	後藤美里	情報	□□□	□□	□□□
3	非常勤講師	相澤三美	家庭	□□□	□□	□□□
4	非常勤講師	佐野句美子	音楽	□□□	□□	□□□
5	非常勤講師	渡邊津雪	美術	□□□	□□	□□□
6	非常勤講師	木村悦子	書道	□□□	□□	□□□
7	非常勤講師	山本玄珠	理科	□□□	□□	□□□
8	非常勤講師	佳元 大樹	保健体育	□□□	□□	□□□

職 員 の 年 齢 調

全日制 (令和7年4月1日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0人	
20歳以上30歳未満	4	
30歳以上40歳未満	11	
40歳以上50歳未満	8	
50歳以上56歳未満	16	
56歳以上61歳未満	13	
61歳以上	3	内再任用3人
計	55	平均年齢 47歳8月

定時制 (令和7年4月1日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0人	
20歳以上30歳未満	2	
30歳以上40歳未満	3	
40歳以上50歳未満	1	
50歳以上56歳未満	1	
56歳以上61歳未満	2	
61歳以上	0	
計	9	平均年齢 41歳4月

健 康 管 理

1 令和6年度受診状況

区分	内 容
受診状況	受診者数 65人
	職員数 65人
受診率	100.00%
県平均受診率	100.00%

(1) 未受診の理由

休 職 人
育 休 人

2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健康管理区分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要治療	(0) 0人
B 2		要経過観察	0人
C 1	勤務をほぼ平常に行ってよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要治療	(0) 0人
C 2		要経過観察	0人
D 1	平常の勤務でよい。	要治療	(21) 21人
D 2		要経過観察	(11) 11人
D 3		医療不要	(31) 31人
区分者計			(63) 63人
未区分者数			1人
合 計			64人

(1) 管理区分A～C 2該当者に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア 産休・育休 人
イ 新規採用 人
ウ 自己都合による未受診 人
エ その他 (休 職) 人